

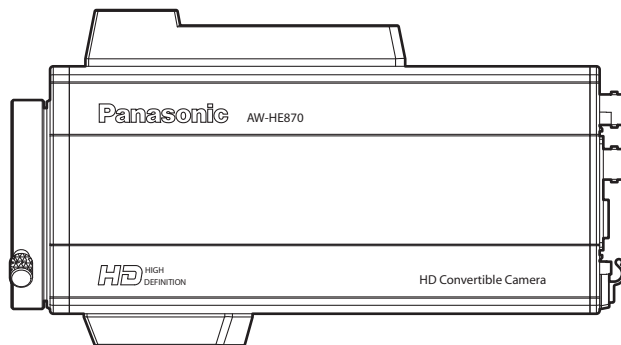
Panasonic®

取扱説明書

HDコンバーチブルカメラ

品番 **AW-HE870N**

工事説明付き



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(4～7ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

もくじ

概要	8	システムの操作方法	39
付属品	8	■リモートオペレーションパネル AW-CB400 から コントロールする場合	39
特長	9	■マルチファンクションコントローラー AW-RP655 からコントロールする場合	42
使用上のお願い	10	■マルチハイブリッドコントロールパネル AW-RP555 からコントロールする場合	46
設置上のお願い	12	使用モードの選択	49
各部の名前とはたらき	15	■使用モードの選択	49
■前面・上面・後面・底面	15	■選択のしかた	50
取り付けかた	19	操作の手順	51
■レンズの取り付けかた	19	調整のしかた	52
■回転台、三脚、カメラ取付金具などへの取り付け ...	20	■フランジバック調整	52
システムの組みかた（接続）	24	■レンズ内のアイリスゲインボリューム調整	52
■コンポジット／コンポーネント入力端子を 持つ機器への接続	24	■ホワイトバランス調整	53
■リモートオペレーションパネルの接続	25	■ブラックバランス調整	55
■複数台のカメラの接続（外部同期のかけかた） ...	26	■黒レベル（トータルペダスタル）調整	56
■屋内回転台 AW-PH360 の接続	27	■ゲンロック調整	57
■屋内回転台 AW-PH400 の接続	30		
■屋内回転台 AW-PH405 の接続	33		
■屋外回転台 AW-PH650 の接続	36		

もくじ

メニュー項目の設定・変更	60	初期設定（出荷時設定）に戻すには	89
■メニュー項目の設定	60	■初期設定に戻すには	89
		■初期設定値（出荷時設定値）	90
ハロゲンライト、蛍光灯、		故障と思ったら	93
屋外モード時のメニュー項目の設定・変更	62	外形寸法図	98
■ハロゲンライト、蛍光灯、		定 格	99
屋外モードのサブメニュー画面	62	保証とアフターサービス	102
■設定画面の説明	63		
ユーザーモード時のメニュー項目の設定・変更	70		
■ユーザーモード時のサブメニュー画面	70		
■設定画面の説明	73		
設定を変更するには	86		
■フォーマット設定を変更するには	86		
■コンポーネント設定を変更するには	87		
■ EBU マトリクスを設定するには	88		

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず守る**
- 必ず販売店へ依頼してください。

異物を入れない



禁止

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

- 必ず守る**
- ただちに電源を切って、販売店にご連絡ください

異常があるときは、すぐ使用をやめる



必ず守る

煙が出る、臭いがする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災の原因となります。

- 必ず守る**
- ただちに電源を切って、販売店にご連絡ください。

分解しない、改造しない



火災や感電の原因となります。

分解禁止

- 必ず守る**
- 修理や点検は販売店へご連絡ください。

定期的に点検する



必ず守る

金具やねじがさびると、落下などでけがの原因となります。

- 必ず守る**
- 点検は販売店へご連絡ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

落下防止対策を施す



落下によるけがの原因となります。

必ず守る

- 16 ページ「③ カメラ取付用ねじ穴」および 20 ページ「取り付けかた」を参照してください。

ねじや固定機構はしっかりと締め付ける



締め付けが緩むと、落下などでけがの原因となります。

必ず守る

屋外、湿気やほこりの多い場所に設置しない



火災や感電の原因となります。

禁止

- ・通風口をふさがない
- ・ラック、本箱など密閉した中に入れない



内部に熱がこもり、火災の原因となります。

禁止

落とさない、強い衝撃を与えない



けがや火災の原因となります。

禁止

- 販売店にご相談ください。

総質量に耐える場所に取り付ける



取り付け場所の強度が不十分なとき、落下や転倒などでけがの原因となります。

必ず守る

- 十分な強度に補強してから取り付けてください。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 注意

お手入れのときは電源を切る



必ず守る

けがの原因となります。

プラグやコネクターを抜くときは、コードを引っ張らない



禁止

コードが傷つき、火災や感電の原因になる恐れがあります。

- 必ずプラグやコネクターを持って抜いてください。

ベンジンやシンナー等は使用しない



禁止

塗装面に影響を与える場合があります。

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた個人情報に該当します。*

法律にしたがって、映像情報を適正にお取り扱いください。

*経済産業省「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

このたびは、HD コンバーチブルカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

概要

- 14ビット A/D 変換とデジタル映像信号処理を採用し、高信頼性、多機能ながら、小型、軽量化を図った 2/3 型 3CCD 方式の HD/SD マルチフォーマットカメラです。
- メニュー画面形式で容易にカメラのコンディションおよび各種機能の設定、切替ができます。
- リモートコントロールパネルや回転台などの周辺機器と接続でき、用途に応じたシステム展開が可能です。
- オプションカードを取り付けると、さらに多くの用途に対応できます。


ご注意

- 本機のご使用を終え廃棄されるときは、環境保全のため、専門の業者に廃棄を依頼してください。

付属品

取扱説明書 1 冊

DC ケーブル (3 m) 1 本

カメラの DC 電源供給用に使用します。
(18 ページ「 DC 12 V 入力コネクタ」を参照してください。)



ワイヤー取付ねじ (インチねじ : 1/4-20UNC) 1 個

ワイヤー取付平ワッシャー (インチねじ用) 1 個

ワイヤー取付スプリングワッシャー
(インチねじ用) 1 個

特 長

- 14ビット A/D 変換とデジタル映像信号処理を採用し、高信頼性を実現
 - マルチフォーマットに対応
 - ・ 1080i、720p、480i のフォーマットを切り替えが可能。SD フォーマットのシステムから HD フォーマットのシステムへの移行もスムーズに行えます。
 - ・ SD フォーマットでは、Squeeze または Sidecut の選択が可能。
 - ダウンコンバーターを標準搭載
HD (1080i、720p) 信号と同時に、VIDEO OUT 端子より SD (480i) コンポジット信号を常時出力可能^{※1}。
 - 小型ながら多機能、多彩な映像製作が可能
 - ・ ATW、ELC、AGC 等のオート機能を搭載。
 - ・ クロマディテール、ダークディテール、デジタルカラーマトリクス補正機能を搭載。
 - ・ シンクロスキャン機能により、コンピューター画面撮像時のノイズを低減。
 - ・ 4 種の使用モード (ハロゲンライト、蛍光灯、屋外、ユーザー) から、各用途に最適の条件を選択可能。
 - ・ SDI カードオプション^{※2} に対応 (AW-HHD870)。
 - ・ 当社製コンバーチブルカメラと同様の操作体系を採用^{※3}。
 - ・ 当社製回転台^{※4}、コントロールパネルが使用可能^{※5}。
- ※ 1 : 外部同期使用時は、選択されている映像出力フォーマット (Format) の出力信号のみ同期します。
- ※ 2 : AW-HE870 に対応したオプションカード (AW-HHD870) のみ使用できます。その他のカードは使用できません。
- ※ 3 : 機能によっては一部操作が異なります。
- ※ 4 : 対応機種は AW-PH360、AW-PH400、AW-PH405、AW-PH650 です。AW-PH360 と AW-PH400 はアナログ HD 映像信号を出力できません。
- ※ 5 : 対応機種は AW-RP555、AW-RP655、AW-CB400/AW-RP400 です。ソフトウェアのバージョンアップが必要となることがあります。販売店にお問い合わせください。

使用上のお願い

●撮影は適正な照明で

- 美しいカラー映像を得るには適正な照明で撮影してください。
- 蛍光灯の照明では正しい色が出にくいことがあります。必要に応じて適正な照明をお選びください。
- 明るすぎるところではNDフィルターをお使いください。



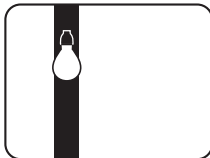
●高輝度の被写体では

光った被写体などを撮影すると CCD カメラ特有のスミア現象が発生します。



●オート機能使用のときは

- ELC 動作のときに光った被写体などを撮影すると CCD 特有のスミア現象が発生することがあります。
- 蛍光灯下の ATW 機能の使用はホワイトバランスが変動する場合があります。



スミア：電球など光った高輝度の被写体の上下（縦方向）に尾が引く現象

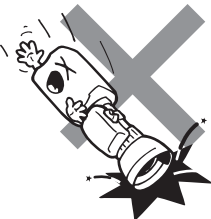
●ケーブルの抜き差しは電源を切って

ケーブルの抜き差しは必ず機器の電源を切ってから行ってください。



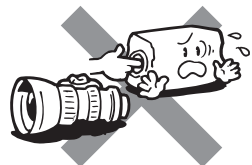
●取り扱いはていねいに

落としたり強い衝撃や振動を与えないでください。故障の原因になります。



●光学系部には触れないで

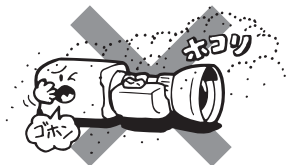
光学系部はカメラの“命”。レンズを外したりして光学系には絶対に触れないでください。ほこりがついた場合は、カメラ用のブロワーやレンズクリーニングペーパーで軽く清掃してください。



使用上のお願い

●湿気、ほこりの少ない所で

湿気、ほこりの多い所は、内部の部分がいたみやすくなりますのでさけてください。



●使用温度範囲は

-10℃以下の寒い所や+45℃以上の暑い所では画質の低下や内部の部品に悪影響を与えますので、さけてください。



●冷却ファンについて

内部には冷却ファンがついています。

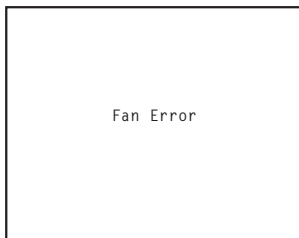
冷却ファンは消耗品ですので、設置後3年～5年を目安に交換してください。

冷却ファンが故障した場合、電源をONしたときに「Fan Error」と表示されます。

「Fan Error」が表示されたら、交換を依頼してください。（交換は必ず販売店へ依頼してください。）

●お手入れは

電源を切って乾いた布で拭いてください。ほこりがとれにくいときは、台所用洗剤を布に浸み込ませて軽く拭いてください。レンズの清掃はレンズクリーニングペーパー（メガネやカメラなどの清掃に使うもの）で行ってください。



設置上のお願い

本機の設置・調整および接続工事は必ず販売店にお申しつけください。

カメラの取り付け場所について

設置場所は、カメラ、レンズ、ケーブル類を含めた全体の質量の5倍以上の引抜強度に耐えられる強度を確保してください。

回転台や取付金具に取り付けて設置する場合は、その質量も含めた全体の質量の5倍以上の引抜強度に耐えられる強度を確保してください。

以下のような場所での設置および使用はできません

- 屋外および水滴または水沫のかかる場所
- プールなど、薬剤を使用する場所
- 厨房などの蒸気や油分の多い場所、および可燃性雰囲気中などの特殊環境の場所
- 放射線やX線および強力な電波や磁気の発生する場所
- 使用周囲温度（-10℃～45℃）を超える場所
- エアコンの吹き出し口近くや外気の入り込む扉付近など、急激に温度が変化する場所（レンズ部が曇ったり、結露したりする場合があります）
- 車の上などの振動の多い場所
- 湿気やほこりの多い場所

使用していない場合は放置せず、必ず撤去してください

カメラケーブルは、電灯線などに近づけて配線しないでください

ノイズの入る原因になります。

電波障害について

テレビやラジオの送信アンテナ、強い電界や磁界（モーターやトランスなど）の近くでは、映像がゆがんだり、雑音が入ったりすることがあります。

屋外での使用について

本機は屋内用カメラです。

屋外で使用する場合は、屋外回転台 AW-PH650 を必ずご使用ください。

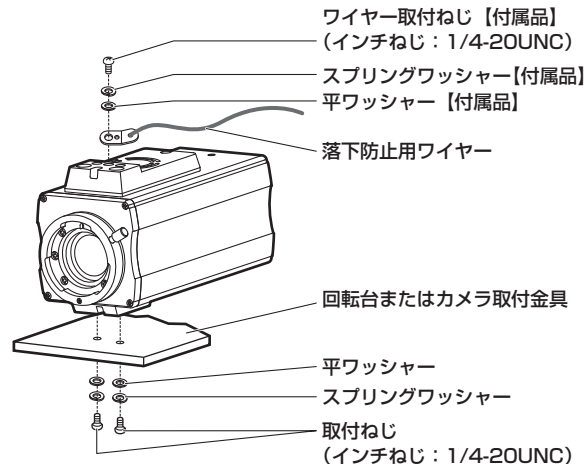
設置上のお願い

本機の設置・調整および接続工事は必ず販売店にお申しつけください。

取付ねじ、落下防止用ワイヤーについて

落下防止用ワイヤーを取り付け、落下防止対策をしてください。

- 本機を当社製の回転台に取り付ける場合は、回転台に付属している取付ねじ、落下防止用ワイヤーを使用してください。
- 回転台以外に取り付ける場合は、落下防止用ワイヤー、カメラ取付金具をご用意ください。
用意するものの詳細は、次ページを参照してください。
- 落下防止用ワイヤーは、カメラ取付用ねじ穴（インチねじ）に取り付けてください。



取付ねじの締め付けについて

下記のトルクで締め付けてください。

締め付けた後は、がたつきがないことを確認してください。

ねじ	締め付けトルク
取付ねじ（インチねじ）	2.0 N・m（20 kgf・cm）

設置上のお願い

本機の設置・調整および接続工事は必ず販売店にお申しつけください。

お客様でご用意いただくもの

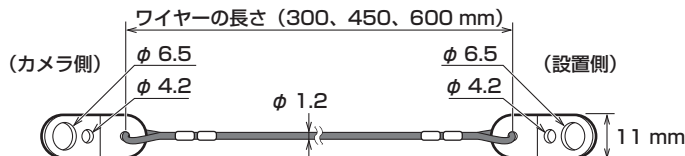
当社製の回転台に取り付ける場合は、回転台に付属している落下防止用ワイヤー、取付ねじを使用してください。
本機を回転台以外に取り付ける場合は、下記のものをご用意ください。

① 落下防止用ワイヤー（別売品）：1本

※必ずご使用ください。

別売品として、3種類の長さ（300 mm、450 mm、600 mm）の落下防止用ワイヤーをご用意しております。
設置場所や設置方法に合わせて、たるみのない長さのものを使用してください。

ご購入の際は、販売店にお問い合わせください。

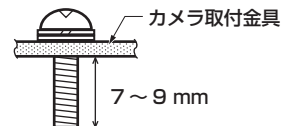


ワイヤーの長さ (mm)	部品品番
300	3CN001064BAA
450	3CN001064BAB
600	3CN001064BAC

② 取付ねじ（インチねじ：1/4-20UNC）：

2本（カメラ取付用）

カメラ取付金具の厚みを考慮した長さにしてください。



③ 設置側ワイヤー取付ねじ（M6）

設置場所は、必ずアンカーボルトを使用し、全体の質量の10倍以上の強度を確保してください。

④ 1/4インチねじ用平ワッシャー：2個（カメラ取付用）

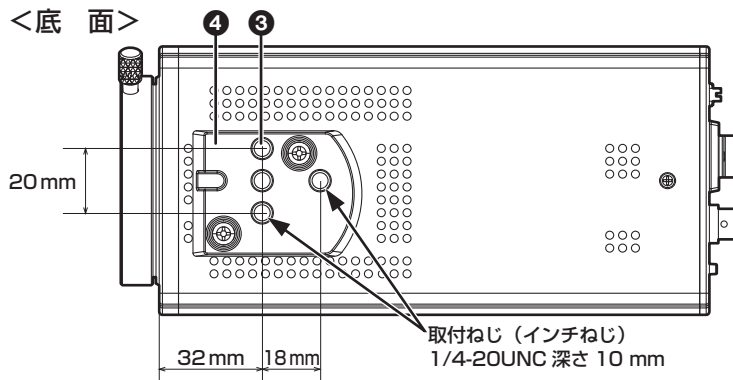
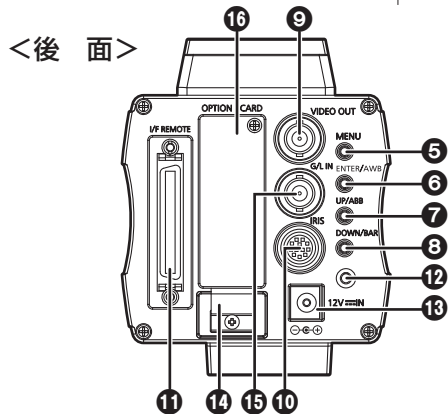
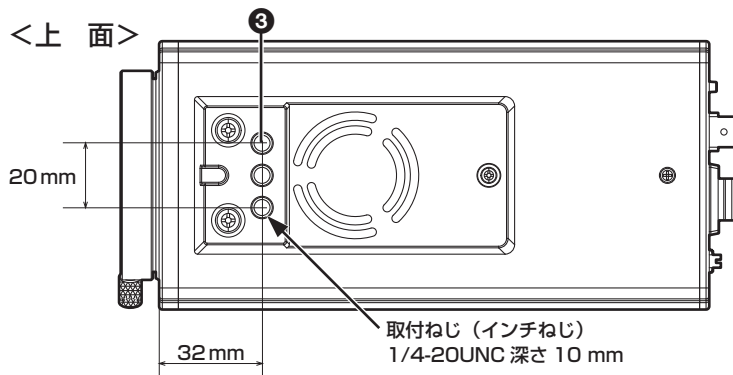
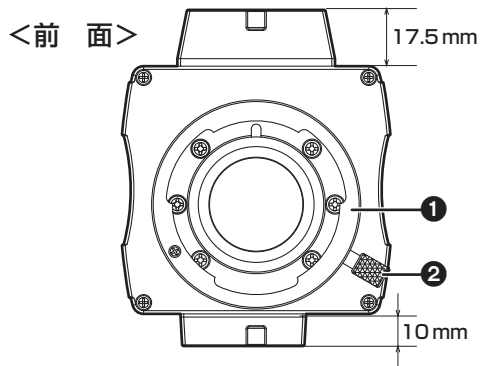
⑤ 1/4インチねじ用スプリングワッシャー：2個（カメラ取付用）

⑥ カメラ取付金具：1個

カメラおよびレンズ等の全体の質量に十分耐えられる材質・形状のものをご用意ください。
カメラ取付用の穴の位置は、15ページの<底面>を参照して、 $\phi 7$ mm（取付ねじ：1/4-20UNCに対応）の穴を開けてください。

各部の名前とはたらき

■前面・上面・後面・底面



各部の名前とはたらき

① レンズマウント

2/3 型バヨネット式レンズや顕微鏡アダプターなどを取り付けます。

② レンズ固定リングノブ

時計方向にまわしてレンズを固定します。

③ カメラ取付用ねじ穴（インチねじ：1/4-20UNC）

壁面や天井にカメラを設置したいときや、回転台、三脚を使いたいときは、このねじ穴を使って固定します。また、このねじ穴にワイヤー取付ねじ（インチねじ：1/4-20UNC）を使って落下防止用ワイヤーを取り付けます。

④ カメラ取付アダプター

現地の取付金具や回転台、三脚に取り付けるときに使います。

⑤ メニュースイッチ [MENU]

MENU スイッチを 3 秒以上押すとメニューが画面に表示されます。

メニュー表示中に 3 秒以上押すとメニュー画面が OFF となります。

サブメニュー画面で項目変更時に押すと変更前の設定値に戻ります。

⑥ エンター／オートホワイトバランススイッチ [ENTER/AWB]

メインメニュー画面で押すと選択項目のサブメニュー画面が表示され、サブメニュー画面で押すと選択項目が点滅し変更可能な状態となります。

変更可能な状態で押すと変更を確定します。

各確認画面（86～89 ページ参照）では、選択中の「O.K.」「CANCEL」を確定します。

メニューを表示していないとき（撮影状態）はホワイトバランスの自動調整（AWB）スイッチとなります。

各部の名前とはたらき

⑦ アップ／オートブラックバランススイッチ

[UP/ABB]

メニュー表示中に押すと、一つ上の項目を選択できます。

サブメニュー画面で項目変更可能時に押すと、設定値が高いほうに変化します。

メニューを表示していないとき（撮影状態）は、ブラックバランスの自動調整（ABB）スイッチとなります。

⑧ ダウン／バースイッチ [DOWN/BAR]

メニュー表示中に押すと、一つ下の項目を選択できます。

サブメニュー画面で項目変更時に押すと、設定値が低いほうに変化します。

メニューを表示していないときに約 2 秒押すと、カラーバー信号とカメラ（撮影状態）が切り替わります。

⑨ ビデオ出力コネクタ [VIDEO OUT]

コンポジットビデオ信号を出力します。
(1 V [p-p] 75 Ω BNC コネクタ)

⑩ アイリスコネクタ [IRIS]

モータードライブレンズ AW-LZ17MD9AG や AK-LZ20M85G などの IRIS ケーブルを接続します。

⑪ インターフェース／リモートコネクタ

[I/F REMOTE]

リモートオペレーションパネル（AW-CB400）、回転台（AW-PH400 など）を接続する端子です。

AW-CB400 に接続する場合は、カメラコントロールケーブル（AW-CA50T8）が必要です。

各部の名前とはたらき

⑫ 電源表示 LED

DC 12 V 入力コネクタ ⑬ に DC 電源が入力されると緑色に点灯します。

⑬ DC 12 V 入力コネクタ [12V ≡ IN]

AC アダプター AW-PS510A (別売品) を接続します。接続の際は、AW-HE870 付属の φ 5.5 プラグ付 DC ケーブルをお使いください。



ご注意

- 本機と従来のコンバーチブルカメラの DC 12 V 入力コネクタは極性が逆になっています。必ず本体に付属の DC ケーブルをお使いください。

⑭ ケーブルクランプ

DC 12 V 入力コネクタ ⑬ に接続した φ 5.5 プラグ付 DC ケーブルをクランプし、ケーブル抜けを防止します。DC ケーブルは、必ずケーブルクランプで固定してください。

⑮ ゲンロック入力コネクタ [G/L IN]

カメラに外部同期をかけるとき、外部同期信号 (ブラックバースト) を入力します。

HD フォーマットの 3 値 SYNC 信号には対応していません。

⑯ オプションカードスロット [OPTION CARD]

オプションカード用のスロットです。詳しくは、各オプションカードの取扱説明書をご参照ください。

ご注意

- 本機に対応したオプションカード (AW-HHD870) のみ使用できます。その他のカードは使用できません。

取り付けかた

本機の設置・調整および接続工事は必ず販売店にお申しつけください。

■レンズの取り付けかた

- 別売の 2/3 型バヨネット式レンズ (AW-LZ17MD9AG や AK-LZ20M85G など) をご使用ください。

ご注意

- 回転台 AW-PH360 に搭載して使用する場合はレンズは、AW-LZ17MD9AG を使用してください。AW-LZ17MD9AG 以外のレンズは使用できません。AK-LZ20M85G を装着しての AW-PH360 への搭載はおやめください。バランスが確保できなくなります。
 - レンズは、レンズ固定リングノブで確実に締め付けて、がたつきのないことを確認してください。フードについても、がたつきのないことを確認してください。
1. レンズ固定リングノブを反時計方向に回し、レンズマウントキャップを外します。
 2. レンズを取り付け、レンズ固定リングノブを時計方向に回し確実に固定します。
 3. IRIS ケーブルを後面の IRIS コネクターに接続します。

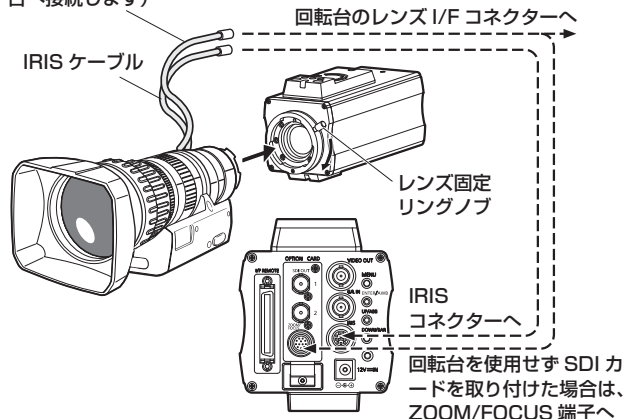
回転台を使用する場合

- レンズのリモートケーブルを回転台の LENS IF (1) 端子へ接続します。

回転台を使用せず、SDI カード (AW-HHD870) を取り付けた場合

- レンズのリモートケーブルを SDI カードの ZOOM/FOCUS 端子へ接続します。

リモート (ズーム/フォーカスコントロール用) ケーブル (回転台を使用する場合は回転台へ接続します)

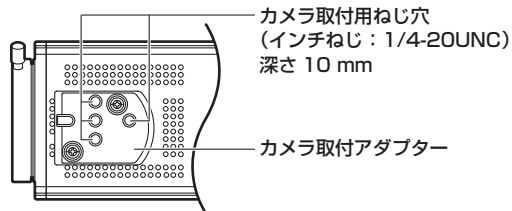


取り付けかた

本機の設置・調整および接続工事は必ず販売店にお申しつけください。

■回転台、三脚、カメラ取付金具などへの取り付け

1. カメラ取付用ねじ穴（インチねじ：1/4-20UNC）を使って、回転台、三脚、カメラ取付金具などに取り付けてください。
2. 底面に取り付けた場合は上面、上面に取り付けた場合は底面のカメラ取付用ねじ穴に、ワイヤー取付ねじ（インチねじ：1/4-20UNC）を使って落下防止用ワイヤーを取り付けます。
本機を当社製の回転台に取り付ける場合は、回転台に付属している取付ねじ、落下防止用ワイヤーを使用してください。
三脚、カメラ取付金具などに取り付ける場合は、13～14 ページを参照して、落下防止用ワイヤー、取付ねじ、ワッシャーをご用意ください。



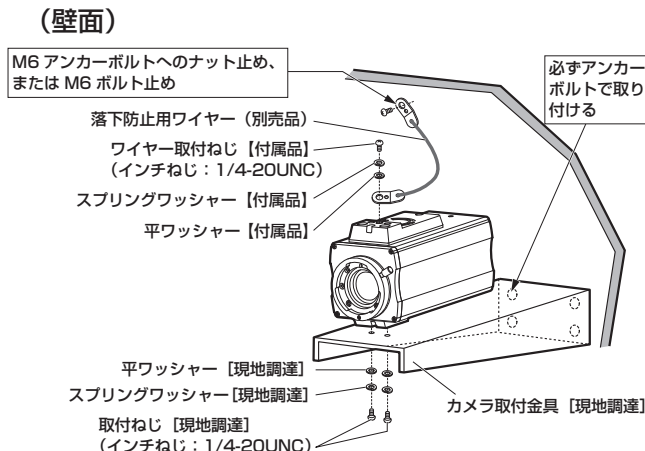
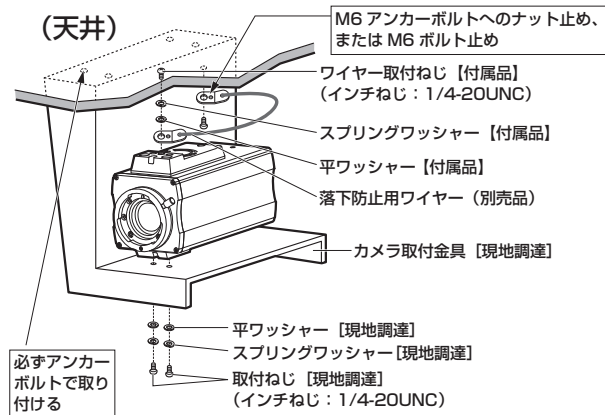
カメラの脱落や落下防止について

- カメラを回転台（AW-PH360、AW-PH400、AW-PH405、AW-PH650）に取り付けるときには、回転台の取扱説明書の内容に従い、カメラと回転台を確実に固定してください。
また、回転台には落下防止用のワイヤーと取付ねじが付属されていますので、確実にカメラと回転台を連結して落下防止対策を行ってください。
- カメラを回転台（AW-PH360、AW-PH400、AW-PH405、AW-PH650）以外の取付台や、他の回転台等に取り付けるときは、カメラとレンズ、また接続ケーブル等を含めた全体の質量に十分耐えられることを確認し、所定の工具を使用して確実に取り付けて、必ず落下防止対策を行ってください。

取り付けかた

本機の設置・調整および接続工事は必ず販売店にお申しつけください。

● 天井や壁面に取り付ける例



ご注意

- 取付金具の設置および落下防止用ワイヤーの片側を天井や壁面に取り付ける際は、必ずアンカーボルトを使用し、取付金具、カメラ、レンズ、ケーブル類を含めた全体の質量の 10 倍以上の引抜強度を確保してください。
- 取付金具、カメラ本体、レンズ、ケーブル類を含めた全体の質量が 8 kg 以内になるようにしてください。
- 落下移動距離が 150 mm 以下になるように落下防止用ワイヤーを取り付けてください。

- 取付ねじの締め付けについては、下表のトルクで締め付け、がたつきのないことを確認してください。

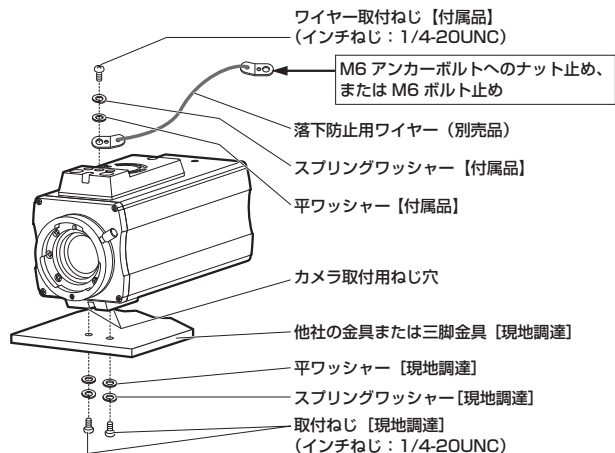
ねじ	締め付けトルク
取付ねじ (インチねじ)	2.0 N・m (20 kgf・cm)

- インパクトドライバーを使用しないでください。ねじの破損の原因になります。

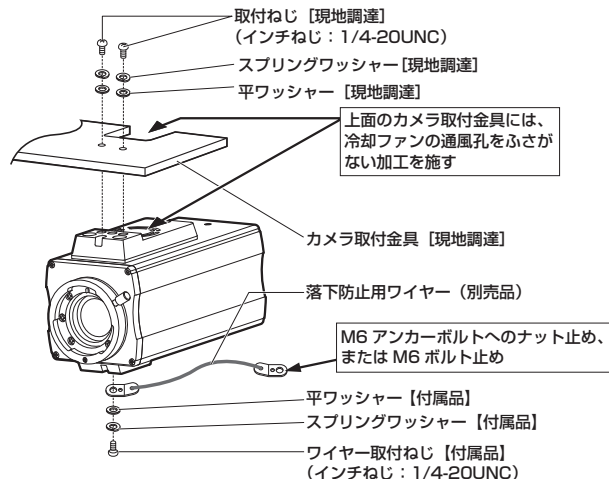
取り付けかた

本機の設置・調整および接続工事は必ず販売店にお申しつけください。

● 他社の金具や三脚に取り付ける例



● 上面から取り付ける例



ご注意

- 取付金具の設置および落下防止用ワイヤーの片側を天井や壁面に取り付ける際は、必ずアンカーボルトを使用し、取付金具、カメラ、レンズ、ケーブル類を含めた全体の質量の 10 倍以上の引抜強度を確保してください。
- 三脚に取り付けた場合でも、三脚側のねじ等を使用して、必ず落下防止対策をしてください。
- 上面から取り付ける場合には、冷却ファンの通風孔をふさがないでください。
- 取付金具、カメラ本体、レンズ、ケーブル類を含めた全体の質量が 8 kg 以内になるようにしてください。

- 落下移動距離が 150 mm 以下になるように落下防止用ワイヤーを取り付けてください。
- 取付ねじの締め付けについては、下表のトルクで締め付け、がたつきのないことを確認してください。

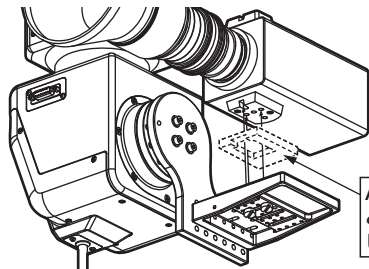
ねじ	締め付けトルク
取付ねじ (インチねじ)	2.0 N・m (20 kgf・cm)

- インパクトドライバーを使用しないでください。ねじの破損の原因になります。

取り付けかた

本機の設置・調整および接続工事は必ず販売店にお申しつけください。

3. 回転台 (AW-PH400) に固定ラバーが付属されている場合には、その固定ラバーは使用しないでください。付属している固定ラバーを使用すると、カメラの通風孔がふさがれカメラ内部の温度が上昇して、故障の原因になります。



AW-HE870 を取り付けるときは、固定ラバーを使用しないでください。

屋内回転台 AW-PH400

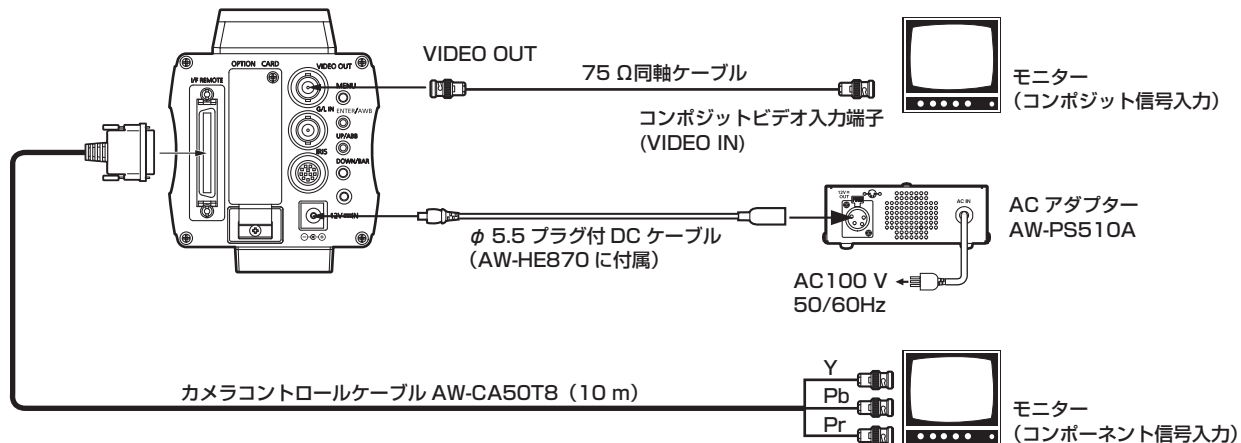
ご注意

- カメラ取付用ねじ穴の仕様については、「各部の名称とはたらき」(15 ページ) を参照してください。
- 上面のカメラ取付用ねじ穴を使ってカメラを取り付ける場合 (吊り下げて取り付ける場合) は、冷却ファンの通風孔をふさがないように注意してください。
- 上面のカメラ取付用ねじ穴を使ってカメラを取り付ける場合 (吊り下げて取り付ける場合) は、底面のカメラ取付用ねじ穴に落下防止用ワイヤーを取り付けてください。
- カメラを逆さまに取り付けますと、カメラ内部の温度が上がり故障の原因になりますのでおやめください。
- 回転台への取り付けに関しては、回転台の取扱説明書で十分確認してから、確実に取り付けてください。

システムの組みかた (接続)

■コンポジット／コンポーネント入力端子を持つ機器への接続

- モニターやVTRなど、コンポジット信号入力端子を持つ機器へは、本機の VIDEO OUT 端子からの出力を接続します。
- HD/SD コンポーネント信号入力端子を持つ機器へは、別売のカメラコントロールケーブル AW-CA50T8 を通して本機の I/F REMOTE 端子と接続します。
- コンポジット信号 (VIDEO OUT 端子) とコンポーネント信号 (I/F REMOTE 端子) は同時に出力することができます。
- 12 V 入力コネクタに接続するケーブルは、AW-HE870 に付属の ϕ 5.5 プラグ付 DC ケーブルをお使いください。

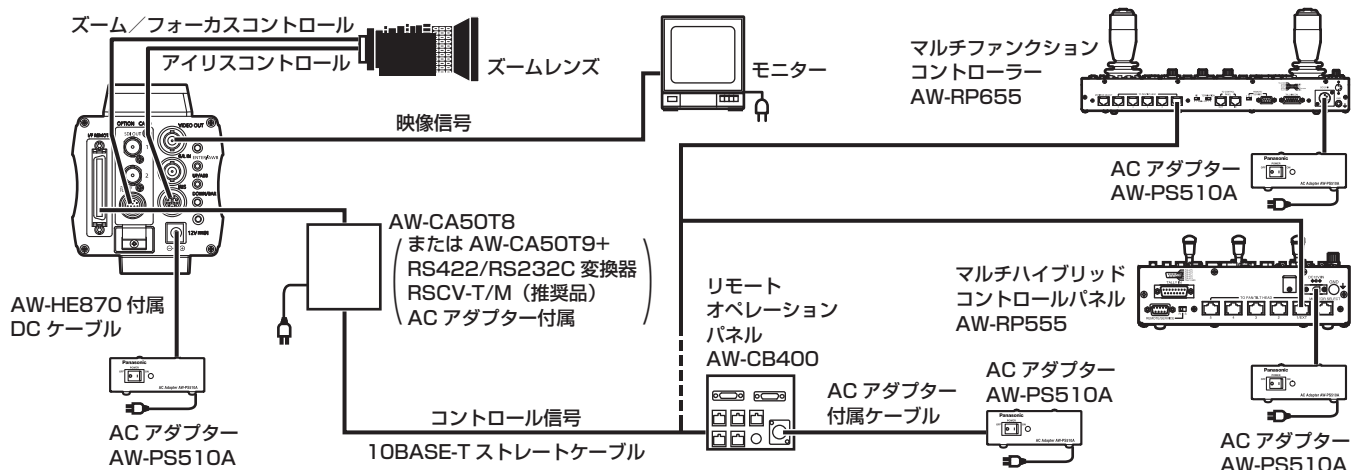


システムの組みかた（接続）

■リモートオペレーションパネルの接続

SDI カード（AW-HHD870）を取り付けた場合

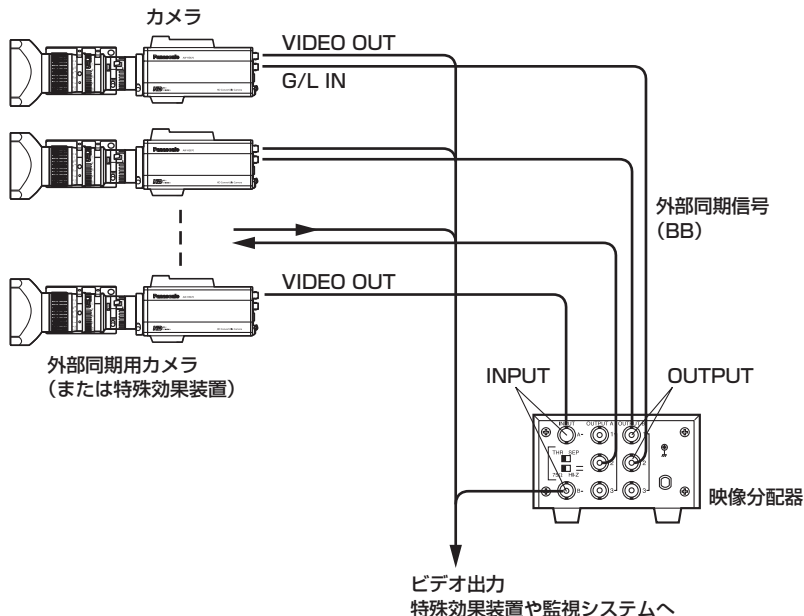
- 接続はすべての機器の電源を切った状態で行ってください。
- 本機の AC アダプターには AW-PS510A をご使用ください。
本機の DC 12V IN 端子と、AW-PS510A の DC 12V OUT 端子を本機に付属の DC ケーブルで接続します。
- リモートオペレーションパネルの CONTROL OUT TO CAMERA 端子 [1] ～ [5] と本機の I/F REMOTE 端子は、別売の接続ケーブル AW-CA50T8（または AW-CA50T9 + RS422/RS232C 変換器）を通して接続します。
- リモートオペレーションパネルと AW-CA50T8（または AW-CA50T9 + RS422/RS232C 変換器）は、10BASE-T（UTP カテゴリー 5 相当）ストレートケーブルで約 1000 m まで延長できます。



システムの組みかた（接続）

■複数台のカメラの接続（外部同期のかけかた）

- ゲンロック入力コネクタに同期信号（BB）を入力します。
- 外部同期用として使用するカメラの電源は「切」にしないでください。
- 外部同期をかけるときは、ゲンロック調整が必要です。（57 ページ）



ご注意

- HD フォーマットの 3 値 SYNC 信号には対応していません。
- 外部同期使用時は、選択されている映像出力フォーマット (Format) の出力信号のみ同期します (各 1080i、720p、480i)。
 - ① HD フォーマット (1080i または 720p) 選択時、VIDEO OUT (コンポジット信号)、および AW-CA50T8 の S 端子から出力される Y/C 信号は外部同期信号と同期しません。
 - ② VIDEO OUT (コンポジット信号)、および AW-CA50T8 の S 端子から出力される Y/C 信号を外部同期信号と同期させて使用する場合、映像出力フォーマットは「480i」をご使用ください (カメラメニューから選択)。

システムの組みかた（接続）

■屋内回転台 AW-PH360 の接続

- 接続はすべての機器の電源を切った状態で行ってください。
- 屋内回転台 AW-PH360 には、AC アダプター（AW-PS300A）を接続します。
- マルチファンクションコントローラー AW-RP655、またはマルチハイブリッドコントロールパネル AW-RP555 の CONTROL OUT TO PAN/TILT HEAD（1～5）端子と回転台の RP 端子間を 10BASE-T ストレートケーブルで接続します。最大延長距離は、UTP カテゴリー 5 相当使用時に 1000 m です。
- 回転台コントローラー AW-RP400 を使用する場合は、AW-RP400 の CONTROL OUT TO PAN/TILT HEAD（P1～P5）端子と AW-PH360 の RP 端子間を 10BASE-T ストレートケーブルで接続します。最大延長距離は、UTP カテゴリー 5 相当使用時に 500 m です。
- AW-PH360 と本機を回転台付属のカメラケーブルで接続します。
- 電動ズームレンズのアイリスコントロールケーブルをカメラの IRIS 端子に、ズーム／フォーカスケーブルを回転台の LENS I/F（1）端子へ接続します。
- AW-PH360 内部のコントローラー選択スイッチ SW1 を「左側（RP605）」にセットします。
- 伝送信号選択の設定を「SDI 対応」にします。

システムの組みかた（接続）

■屋内回転台 AW-PH360 の接続（つづき）

SDI カード（AW-HHD870）を取り付けた場合

- SDI カードの SDI OUT 端子と AW-PH360 の SDI IN 端子を同軸ケーブルで接続します。
- AW-PH360 の Pr/SDI OUT 端子をカラーモニターの SDI 入力端子に同軸ケーブルで接続します。

ご注意

- HD（1080i、720p）アナログコンポーネント信号は AW-PH360 から出力できません。
- 回転台内部のスイッチ設定など、詳しくは AW-PH360 の取扱説明書をご覧ください。
- 回転台 AW-PH360 に搭載して使用する場合のレンズは、AW-LZ17MD9AG を使用してください。AW-LZ17MD9AG 以外のレンズは使用できません。AK-LZ20M85G を装着しての AW-PH360 への搭載はおやめください。バランスが確保できなくなります。

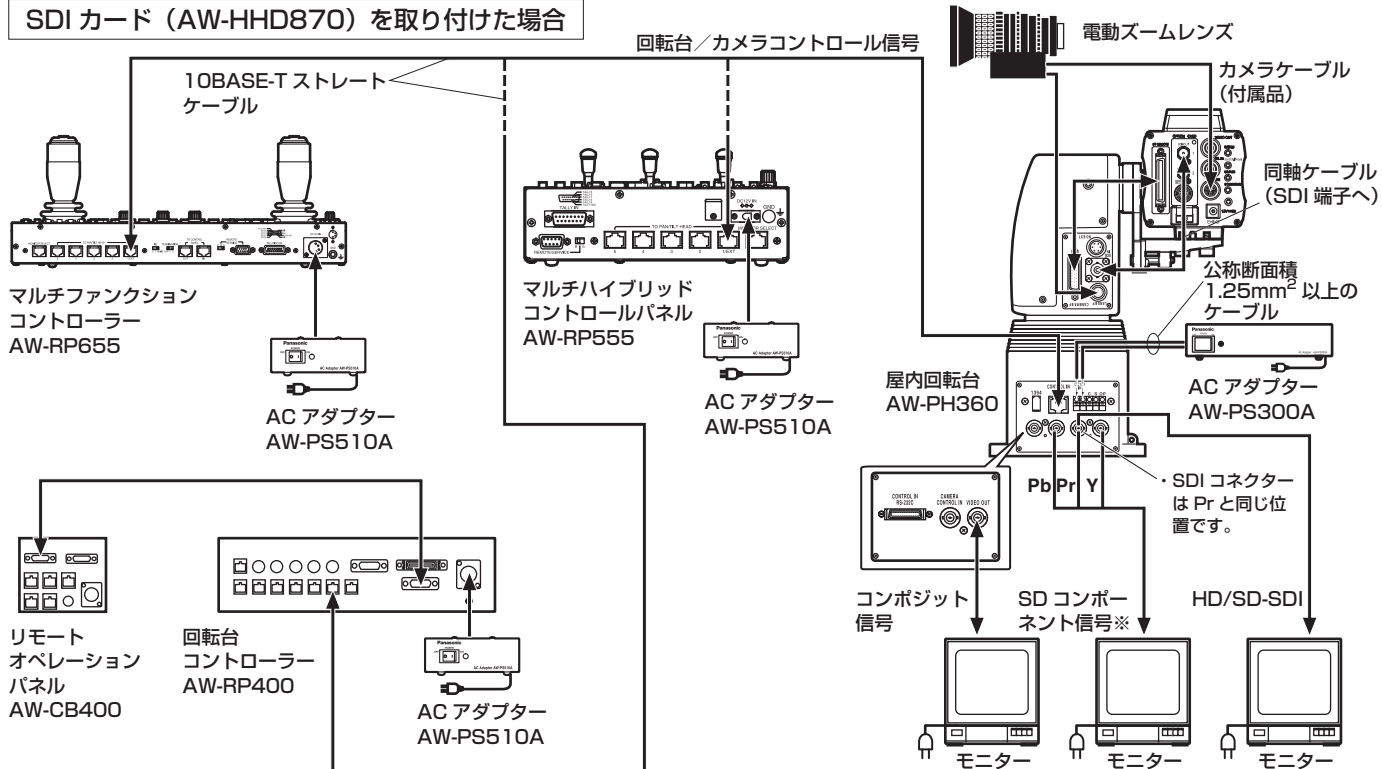
◎ AW-IF400 のスイッチ設定（AW-RP400 を使用する場合）

SW1	SW2	SET UP			
		1	2	3	4
OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF

システムの組みかた (接続)

■屋内回転台 AW-PH360 の接続 (つづき)

SDI カード (AW-HHD870) を取り付けた場合



システムの組みかた（接続）

■屋内回転台 AW-PH400 の接続

- 接続はすべての機器の電源を切った状態で行ってください。
- 屋内回転台 AW-PH400 には、AW-PH400 に付属の AC 電源ケーブルを接続します。
- マルチファンクションコントローラー AW-RP655、またはマルチハイブリッドコントロールパネル AW-RP555 の CONTROL OUT TO PAN/TILT HEAD（1～5）端子とプロトコルコンバーター AW-IF400 の CONTROLLER 端子間を 10BASE-T ストレートケーブルで接続します。最大延長距離は、UTP カテゴリー 5 相当使用時に 1000 m です。プロトコルコンバーター AW-IF400 の PAN/TILT HEAD 端子と AW-PH400 の RP 端子間を 10BASE-T ストレートケーブルで接続します。最大延長距離は、UTP カテゴリー 5 相当使用時に 500 m です。
- 回転台コントローラー AW-RP400 を使用する場合は、AW-RP400 の CONTROL OUT TO PAN/TILT HEAD（P1～P5）端子と回転台の RP 端子間を 10BASE-T ストレートケーブルで接続します。最大延長距離は、UTP カテゴリー 5 相当使用時に 500 m です。
- AW-PH400 と本機を回転台付属のカメラケーブルで接続します。
- 電動ズームレンズのアイリスコントロールケーブルをカメラの IRIS 端子に、ズーム／フォーカスケーブルを回転台の LENS I/F（1）端子へ接続します。

システムの組みかた（接続）

■屋内回転台 AW-PH400 の接続（つづき）

SDI カード（AW-HHD870）を取り付けた場合

- SDI カードの SDI OUT 端子と AW-PH400 の SDI IN 端子を同軸ケーブルで接続します。
- AW-PH400 の SDI 端子をカラーモニターの SDI 入力端子に同軸ケーブルで接続します。

ご注意

- HD（1080i、720p）アナログコンポーネント信号は AW-PH400 から出力できません。

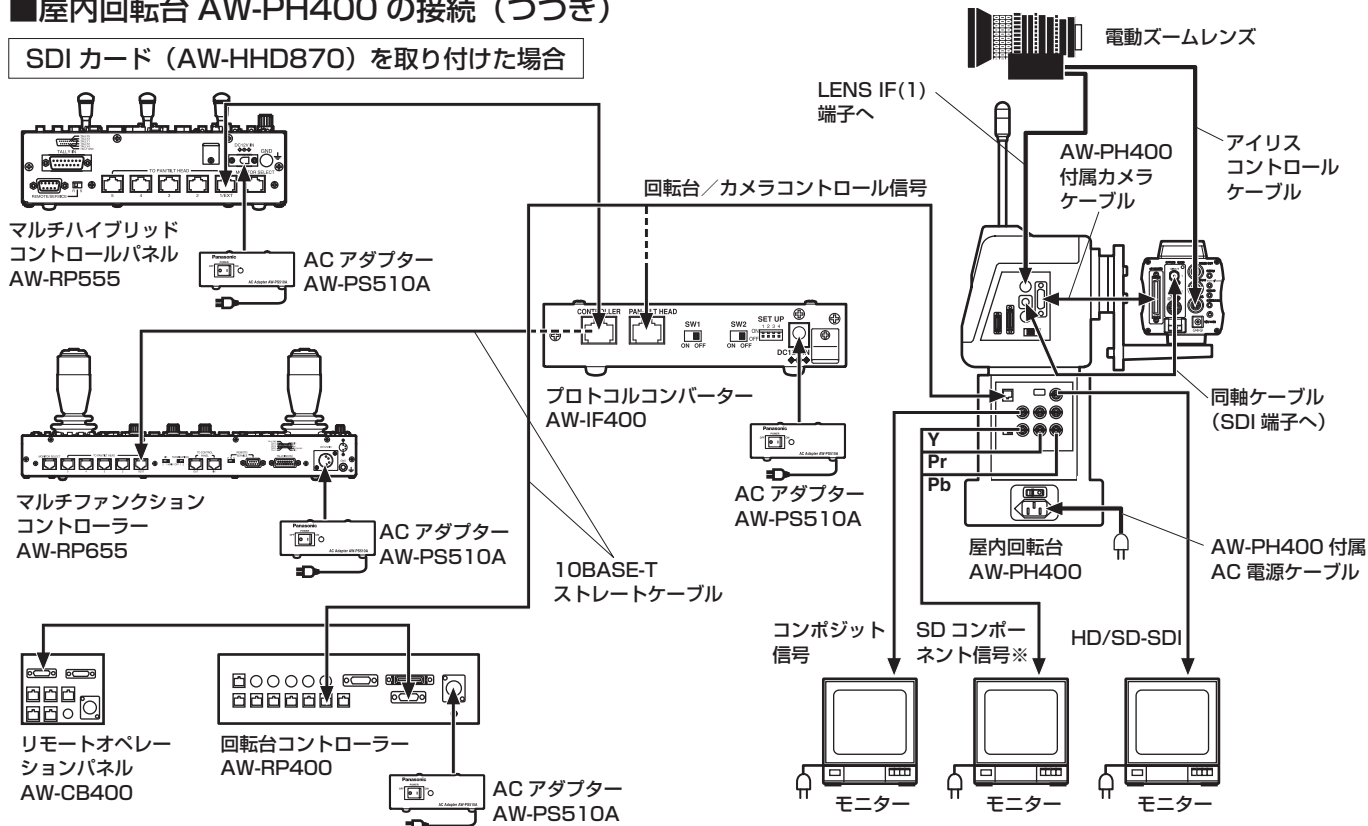
◎ AW-IF400 のスイッチ設定（AW-RP555/AW-RP655 を使用する場合）

SW1	SW2	SET UP				
		1	2	3（チルト範囲）		4
OFF	OFF	ON	OFF	ON (300度)	OFF (190度)	OFF

システムの組みかた (接続)

■屋内回転台 AW-PH400 の接続 (つづき)

SDI カード (AW-HHD870) を取り付けた場合



※: HD コンポーネント信号は出力できません。

システムの組みかた（接続）

■屋内回転台 AW-PH405 の接続

- 接続はすべての機器の電源を切った状態で行ってください。
- 屋内回転台 AW-PH405 には、AW-PH405 に付属の AC 電源ケーブルを接続します。
- マルチファンクションコントローラー AW-RP655、またはマルチハイブリッドコントロールパネル AW-RP555 の CONTROL OUT TO PAN/TILT HEAD（1～5）端子と回転台の RP 端子間を 10BASE-T ストレートケーブルで接続します。最大延長距離は、UTP カテゴリー 5 相当使用時に 1000 m です。
- 回転台コントローラー AW-RP400 を使用する場合は、AW-RP400 の CONTROL OUT TO PAN/TILT HEAD（P1～P5）端子とプロトコルコンバーター AW-IF400 の CONTROLLER 端子間を 10BASE-T ストレートケーブルで接続します。最大延長距離は、UTP カテゴリー 5 相当使用時に 500 m です。
プロトコルコンバーター AW-IF400 の PAN/TILT HEAD 端子と AW-PH405 の RP 端子間を 10BASE-T ストレートケーブルで接続します。最大延長距離は、UTP カテゴリー 5 相当使用時に 1000 m です。
- AW-PH405 と本機を回転台付属のカメラケーブルで接続します。
- 電動ズームレンズのアイリスコントロールケーブルをカメラの IRIS 端子に、ズーム／フォーカスケーブルを回転台の LENS I/F（1）端子へ接続します。

システムの組みかた（接続）

■屋内回転台 AW-PH405 の接続（つづき）

SDI カード（AW-HHD870）を取り付けた場合

- SDI カードの SDI OUT 端子と AW-PH405 の SDI IN 端子を同軸ケーブルで接続します。
- AW-PH405 の SDI 端子をカラーモニターの SDI 入力端子に同軸ケーブルで接続します。

ご注意

- HD（1080i、720p）アナログコンポーネント信号を伝送する場合には、AW-PH405 本体内部のスイッチを HD 側に切り替える必要があります。（ケーブル補償回路は動作しません。）販売店にご相談ください。

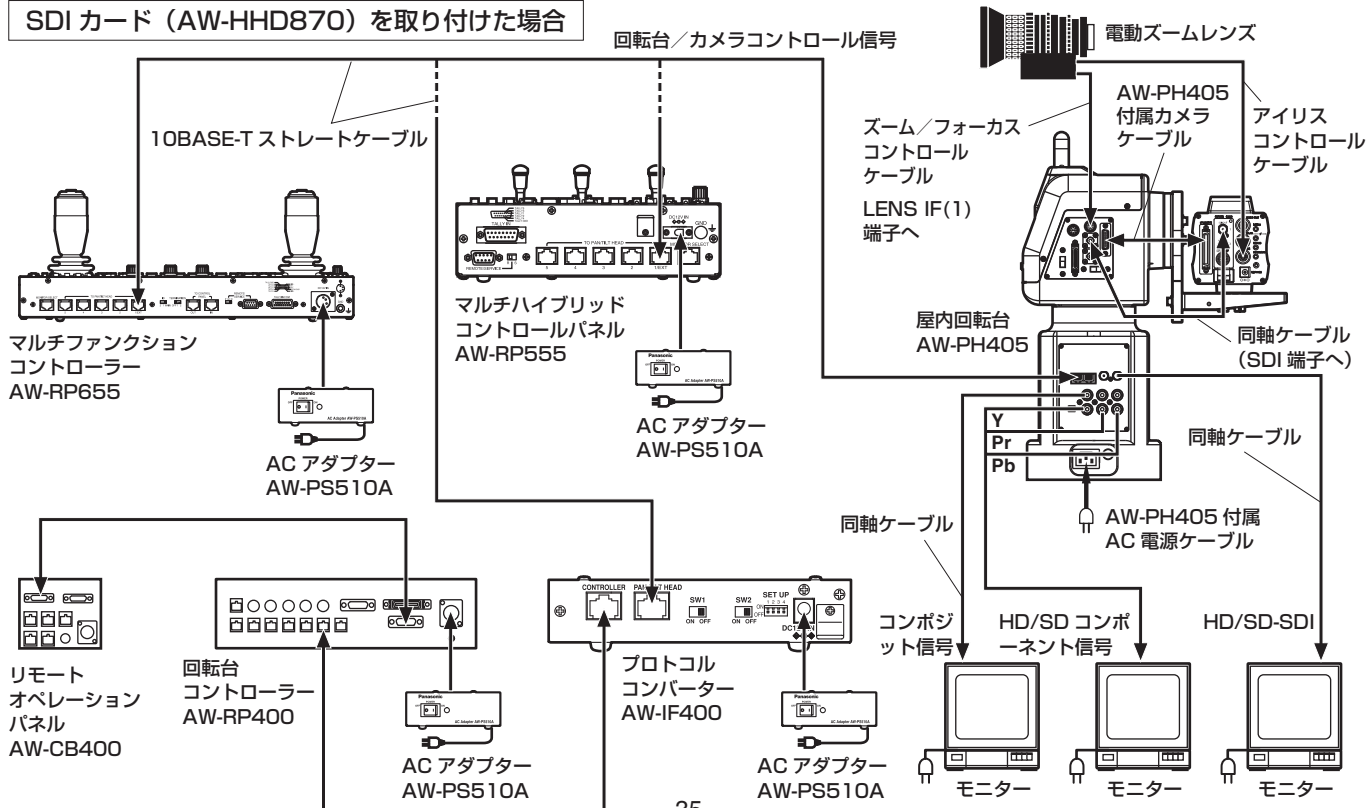
◎ AW-IF400 のスイッチ設定（AW-RP400 を使用する場合）

SW1	SW2	SET UP			
		1	2	3	4
OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF

システムの組みかた (接続)

■屋内回転台 AW-PH405 の接続 (つづき)

SDI カード (AW-HHD870) を取り付けただ場合



システムの組みかた（接続）

■屋外回転台 AW-PH650 の接続

- 接続はすべての機器の電源を切った状態で行ってください。
- 屋外回転台 AW-PH650 には、AW-PH650 に付属の AC アダプターを接続します。
- マルチファンクションコントローラー AW-RP655、またはマルチハイブリッドコントロールパネル AW-RP555 の CONTROL OUT TO PAN/TILT HEAD (1 ~ 5) 端子と回転台の RP 端子間を 10BASE-T ストレートケーブルで接続します。最大延長距離は、UTP カテゴリー 5 相当使用時に 1000 m です。
- 回転台コントローラー AW-RP400 を使用する場合は、AW-RP400 の CONTROL OUT TO PAN/TILT HEAD (P1 ~ P5) 端子とプロトコルコンバーター AW-IF400 の CONTROLLER 端子間を 10BASE-T ストレートケーブルで接続します。最大延長距離は、UTP カテゴリー 5 相当使用時に 500 m です。
プロトコルコンバーター AW-IF400 の PAN/TILT HEAD 端子と AW-PH650 の RP 端子間を 10BASE-T ストレートケーブルで接続します。最大延長距離は、UTP カテゴリー 5 相当使用時に 1000 m です。
- AW-PH650 と本機を回転台付属のカメラケーブルで接続します。
- 電動ズームレンズのアイリスコントロールケーブルをカメラの IRIS 端子に、ズーム／フォーカスケーブルを回転台の LENS I/F (1) 端子へ接続します。

システムの組みかた（接続）

■屋外回転台 AW-PH650 の接続（つづき）

SDI カード（AW-HHD870）を取り付けた場合

- SDI カードの SDI OUT 端子と AW-PH650 本体部の SDI IN 端子を同軸ケーブルで接続します。
- AW-PH650 の同軸コネクタ（SDI OUT）端子をカラーモニターの SDI 入力端子に同軸ケーブルで接続します。

ご注意

- HD（1080i、720p）アナログコンポーネント信号を伝送する場合には、COMP 基板上の SW2、SW3 を HD 側にしてください。このとき SW1 を ON にしても、ケーブル補償回路は動作しませんので、OFF で使用してください。
- ハウジング内部の接続など、詳しくは AW-PH650 の取扱説明書を参照してください。

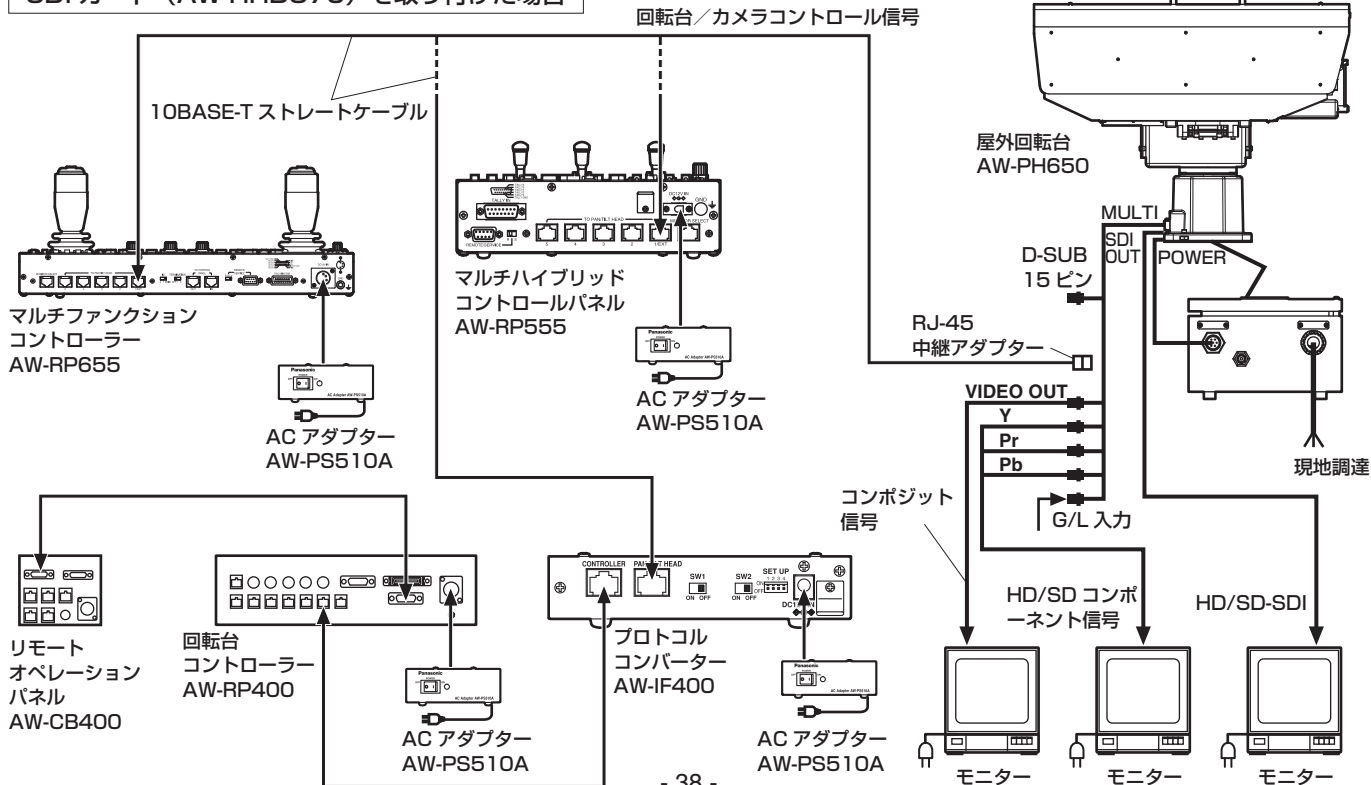
◎ AW-IF400 のスイッチ設定（AW-RP400 を使用する場合）

SW1	SW2	SET UP			
		1	2	3	4
OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF

システムの組みかた (接続)

■屋外回転台 AW-PH650 の接続 (つづき)

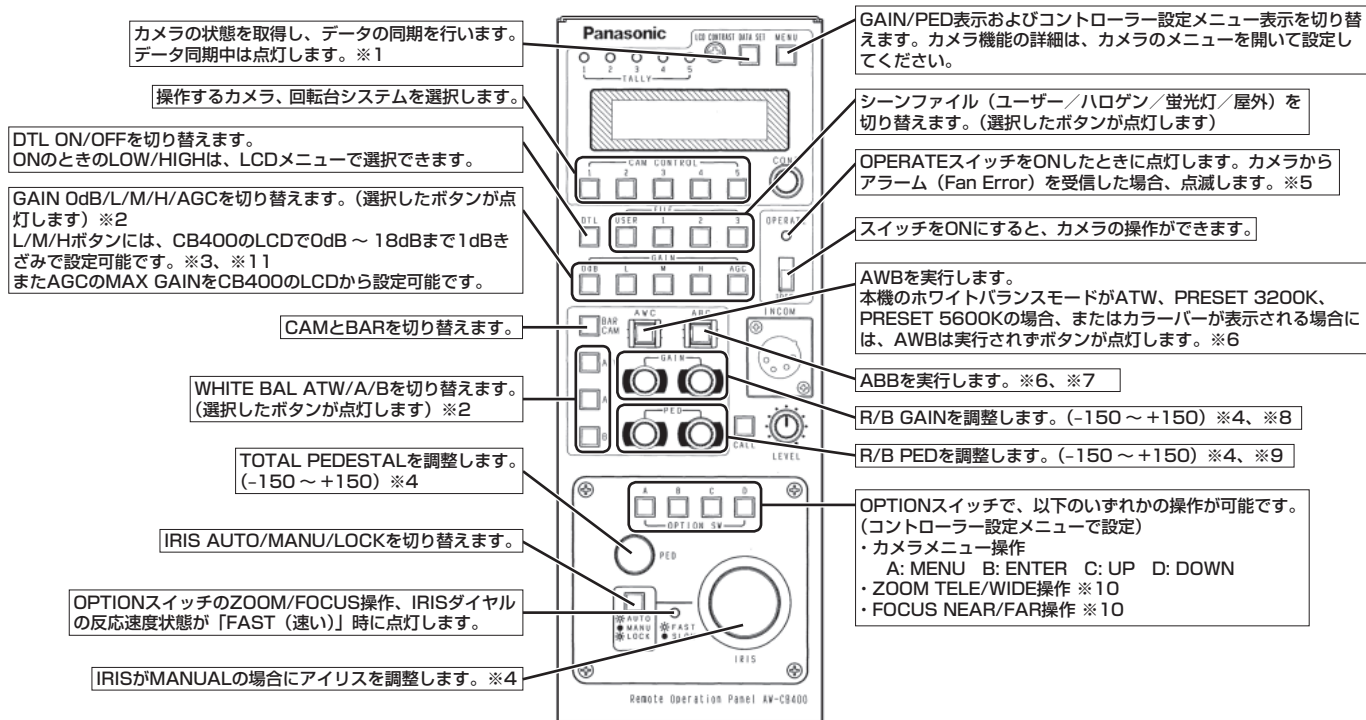
SDI カード (AW-HHD870) を取り付けけた場合



システムの操作方法

■リモートオペレーションパネル AW-CB400 からコントロールする場合

AW-CB400 を使用する場合、AW-CB400 のスイッチ、ダイヤルは下図のように動作します。



システムの操作方法

■リモートオペレーションパネル AW-CB400 からコントロールする場合（つづき）

- ※ 1 : SCENE FILE、CAM/BAR、および各 SCENE の DETAIL OFF/LOW/HIGH、GAINUP、AGC MAX GAIN、W/B MODE、R/B GAIN、T/R/B PED の状態を同期します。
SCENE 切り替え、および CAMERA MENU OFF (MENU ENABLE → DISABLE を含む) 時もカメラから状態を取得します。
- ※ 2 : カメラメニューで PRESET 3200K、PRESET 5600K が選択された場合は、カメラメニューを OFF した時点で、すべて消灯します。
- ※ 3 : 0dB または L/M/H に割り当てられた GAIN または AGC 以外をカメラの OSD メニューで設定した場合は、カメラメニュー OFF 後、すべて消灯します。
- ※ 4 : R/B GAIN、R/B PED、PED、IRIS ダイアルは、それぞれ押し下げると可変速度「速」・「遅」を切り替えることができます。
IRIS ダイアルを押し下げると、同時に OPTION スイッチの ZOOM/FOCUS 操作の速度「速」・「遅」も切り替わります。
- ※ 5 : OPERATE SW が OFF されたとき、CAMERA SELECT が切り替わったとき、および通信ケーブル抜けなどで通信断となった場合には、点滅が停止します。
- ※ 6 : ABB/AWB スイッチは、いずれも実行中に点滅します。
ABB/AWB OK で終了した場合には消灯し、NG で終了した場合には点灯します。
- ※ 7 : カラーバーが表示されている場合には、ABB は実行されず、スイッチが点灯します。
- ※ 8 : AWB が OK 終了した場合、R/B GAIN はゼロクリアされます。
W/B モードが ATW、PRESET 3200K、PRESET 5600K の場合、R/B GAIN は動作しません。
- ※ 9 : ABB が OK 終了した場合、R/B PEDESTAL はゼロクリアされます。
W/B モードが PRESET 3200K、PRESET 5600K の場合、R/B PED は動作しません。
- ※ 10 : 回転台を使用せず SDI カードを取り付けた場合には OPTION スイッチによる ZOOM/FOCUS 操作ができます。
- ※ 11 : GAIN 調整モードでは -6 dB ~ -1 dB の範囲を調整することはできません。
0 dB ~ 18 dB 以外を設定したい場合は、カメラメニューのゲイン選択 (Gain) で指定することができます。

システムの操作方法

■リモートオペレーションパネル AW-CB400 からコントロールする場合（つづき）

カメラメニュー操作方法（AW-CB400）

- ① AW-CB400 の LCD メニューで CAMERA MENU CNT を ENABLE に設定します。
- ② AW-CB400 の [OPTION SW] の [A] ボタンを 2 秒間押します。
- ③ モニター上に AW-HE870 のカメラメニューが表示されます。
- ④ メニュー項目の選択を行います。[OPTION SW] の [C] ボタンを押すと項目が上に移動します。
[OPTION SW] の [D] ボタンを押すと、選択項目が下に移動します。
[OPTION SW] の [B] ボタンを押すと、項目の決定となります。
- ⑤ 項目を選択したら、AW-HE870 の設定値変更を行います。
[OPTION SW] の [C] ボタンを押すとプラス方向へ、[OPTION SW] の [D] ボタンを押すとマイナス方向へ設定値が変更されます。
- ⑥ カメラメニューを終了する場合は、[OPTION SW] の [A] ボタンを 2 秒間押します。

AW-HE870 を AW-CB400 から操作するためには、ソフトウェアのバージョンアップが必要な場合があります。
お買い上げの販売店にお問い合わせください。

システムの操作方法

■マルチファンクションコントローラー AW-RP655 からコントロールする場合

MODEボタンを押すごとに、CAMとBARが切り替わります。
BARのときに、MODEボタンが点灯します。

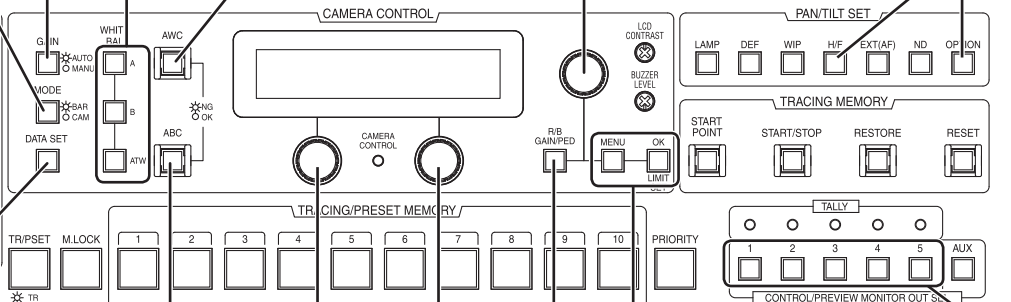
GAIN AUTO/MANUを切り替えます。
AUTOのときGAINボタンが点灯します。

WHITE BAL A/B/ATWを切り替えます。
※1

AWBを実行します。※2、※3

ジョグダイヤル (メイン)
LCDがGAIN調整モードのとき (GAINボタンMANU時)
GAIN 0 dB ~ 18 dBまでを切り替えます。※8
LCDがGAIN調整モードのとき (GAINボタンAUTO時)
AGC MAX GAIN 6 dB、12 dB、18 dBを切り替えます。
LCDがPED調整モードのとき
PEDESTAL TOTAL (-30 ~ +30) を調整します。
カメラメニューモードのとき
カメラメニューを操作します。

カメラからアラーム (Fan Error)
を受信した場合に点滅します。
※4



ABBを実行します。※2、※5

カメラの状態を取得し、データの同期を行います。※6

ジョグダイヤル (L)
LCDパネルがGAIN調整モードのとき
R GAIN (-150 ~ +150) を調整します。
LCDパネルがPED調整モードのとき
R PEDESTAL (-150 ~ +150) を調整します。※7

ジョグダイヤル (R)
LCDパネルがGAIN調整モードのとき
B GAIN (-150 ~ +150) を調整します。
LCDパネルがPED調整モードのとき
B PEDESTAL (-150 ~ +150) を調整します。※7
カメラメニューモードのとき
カメラ本体のMENUスイッチと同じ動作です。

メニューの操作に使用します。

GAIN調整モードとPEDSTAL調整モードを切り替えます。

操作するカメラ、回転台システムを
選択します。

システムの操作方法

■マルチファンクションコントローラー AW-RP655 からコントロールする場合（つづき）

- ※ 1 : カメラメニューで PRESET 3200K、PRESET 5600K が選択された場合は、カメラメニューを OFF した時点で、すべて消灯します。
- ※ 2 : ABB/AWB スイッチは、いずれも実行中は点滅します。
ABB/AWB OK で終了した場合には消灯し、NG で終了した場合には点灯します。
- ※ 3 : 本機のホワイトバランスモードが ATW、PRESET 3200K、PRESET 5600K の場合、またはカラーバーが表示されている場合には、AWB は実行されず、スイッチが点灯します。
- ※ 4 : OPERATE SW が OFF されたとき、CAMERA SELECT が切り替わったとき、および通信ケーブル抜けなどで通信断となった場合には、点滅が停止します。
- ※ 5 : カラーバーが表示されている場合には、ABB は実行されず、スイッチが点灯します。
- ※ 6 : SCENE FILE、CAM/BAR、および各 SCENE の GAINUP、W/B MODE、R/B GAIN、T/R/B PED の状態を同期します。
- ※ 7 : ATW、または PRESET 3200K、PRESET 5600K の場合、R/B GAIN は調整できません。
また、PRESET 3200K、PRESET 5600K の場合、R/B PEDESTAL は調整できません。
- ※ 8 : GAIN 調整モードでは -6 dB ~ -1 dB の範囲を調整することはできません。
0 dB ~ 18 dB 以外を設定したい場合は、カメラメニューのゲイン選択 (Gain) で指定することができます。

システムの操作方法

■マルチファンクションコントローラー AW-RP655 からコントロールする場合（つづき）

モータードライブレンズを接続した AW-HE870 をコントローラーに直接接続した場合、コントローラーのジョイスティックで、ズーム／フォーカスが操作できます。（回転台を使用せず、SDI カードを取り付けた場合）

カメラメニュー操作方法（AW-RP655）

① MENU ボタンを押して、LCD パネル表示をメニューモードにします。

② ジョグダイヤル（メイン）を回して、CAMERA SETTING にします。

③ OK ボタンを押します。

④ LCD パネルにシーン選択メニューが表示されます。
設定したいシーンを選択して OK ボタンを押します。

SCENE	HALOGEN
→ OK Key	

⑤ LCD パネルに、

OPEN CAMERA MENU ?
→ OK Key

もう一度 OK ボタンを押すと、AW-HE870 のメニューがモニターに表示されます。

システムの操作方法

- ⑥ ジョグダイヤル（メイン）を回して、AW-HE870 のメニュー項目の選択、データ変更を行います。
データ変更を行う場合、時計回りでプラス方向へ、反時計回りでマイナス方向へ動きます。
OK ボタンを押しながらジョグダイヤル（メイン）を回すと、設定値を 10 ずつ変更することができます。
（設定範囲を超えて設定値を変更することはできません。）
また、ジョグダイヤル（メイン）を押し下げると、決定（ENTER）となります。
- ⑦ カメラメニューを終了する場合は、MENU ボタン、または、R/B GAIN/PED ボタンを押します。

- AW-HE870 をコントロールする場合、G/L SETTING は表示されません。
G/L は AW-HE870 のカメラメニューで設定します。
- AW-HE870 を AW-RP655 から操作するためには、ソフトウェアのバージョンアップが必要な場合があります。
お買い上げの販売店にお問い合わせください。

システムの操作方法

■マルチハイブリッドコントロールパネル AW-RP555 からコントロールする場合

GAINボタンを押すごとに GAIN AUTO→0dB→L (9dB)→H (18dB) の順に切り替わり、下記のようにLEDでモード表示されます。

【ON : LED点灯、OFF : LED消灯】

	GAINボタン	MANU L LED	MANU H LED
AUTO	ON	OFF	OFF
0dB	OFF	OFF	OFF
LOW	OFF	ON	OFF
HIGH	OFF	OFF	ON
その他	OFF	ON	ON

MODEボタンを押すごとに、CAMとBARが切り替わります。

BARのときに、MODEボタンが点灯します。

操作するカメラ、回転台システムを選択します。

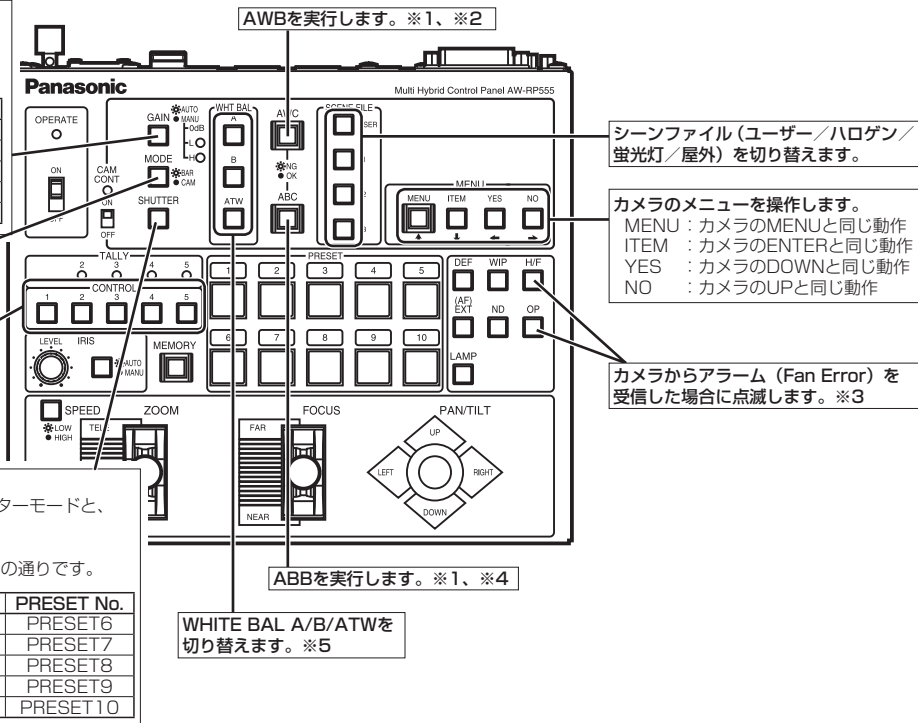
SHUTTER切替

ボタンを押すごとに、コントローラーで設定したシャッターモードと、シャッター OFFを切り替えます。

SHUTTER OFF以外でSHUTTERボタンが点灯します。

PRESETボタンによるシャッターモードの設定は、下記の通りです。

MODE	PRESET No.	MODE	PRESET No.
1/100	PRESET1	1/4000	PRESET6
1/250	PRESET2	1/10000	PRESET7
1/500	PRESET3	SYNCHRO-SCAN	PRESET8
1/1000	PRESET4	ELC	PRESET9
1/2000	PRESET5	OFF	PRESET10



システムの操作方法

■マルチハイブリッドコントロールパネル AW-RP555 からコントロールする場合（つづき）

- ※ 1：ABB/AWB スイッチは、いずれも実行中は点滅します。
ABB/AWB OK で終了した場合には消灯し、NG で終了した場合には点灯します。
- ※ 2：本機のホワイトバランスモードが ATW、PRESET 3200K、PRESET 5600K の場合、またはカラーバーが表示されている場合には、AWB は実行されず、スイッチが点灯します。
- ※ 3：OPERATE SW が OFF されたとき、CAMERA SELECT が切り替わったとき、および通信ケーブル抜けなどで通信断となった場合には、点滅が停止します。
- ※ 4：カラーバーが表示されている場合には、ABB は実行されず、スイッチが点灯します。
- ※ 5：カメラメニューで PRESET 3200K、PRESET 5600K が選択された場合は、すべて消灯します。

システムの操作方法

■マルチハイブリッドコントロールパネル AW-RP555 からコントロールする場合（つづき）

モータードライブレレンズを接続した AW-HE870 をコントローラーに直接接続した場合、コントローラーのジョイスティックで、ズーム／フォーカスが操作できます。（回転台を使用せず、SDI カードを取り付けた場合）

カメラメニュー操作方法（AW-RP555）

- ① AW-RP555 の [MENU] ボタンを 2 秒間押します。
- ② モニター上に AW-HE870 のカメラメニューが表示されます。
- ③ メニュー項目の選択を行います。[YES] ボタンを押すと選択項目が下に移動します。
[NO] ボタンを押すと、選択項目が上に移動します。[ITEM] ボタンを押すと、項目の決定となります。
- ④ 項目を選択したら、AW-HE870 の設定値の変更を行います。
[YES] ボタンを押すとマイナス方向へ、[NO] ボタンを押すとプラス方向へ設定値が変更されます。
- ⑤ カメラメニューを終了する場合は、[MENU] ボタンを 2 秒間押します。

AW-HE870 を AW-RP555 から操作するためには、ソフトウェアのバージョンアップが必要な場合があります。
お買い上げの販売店にお問い合わせください。

使用モードの選択

■使用モードの選択

本機はカメラの各機能を使用状態に合わせてあらかじめ設定された 4 種の使用モードから選択できます。撮影条件、好みに応じて選択してください。

●ハロゲンライトモード

結婚披露宴、パーティ、講演会、イベント会場等の室内撮影にむいています。簡単なメニューで設定の変更ができます。

●蛍光灯モード

蛍光灯下の屋内の撮影にむいています。簡単なメニューで設定の変更ができます。

●屋外モード

屋外の撮影にむいています。簡単なメニューで設定の変更ができます。

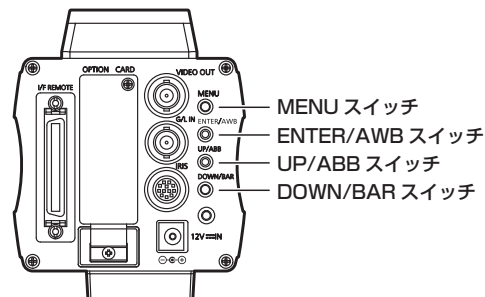
●ユーザーモード

詳細なメニューで設定の変更ができます。

使用モードの選択

■ 選択のしかた

1. MENU スイッチを押しながらカメラの電源を入れると、使用モード設定画面がモニターに表示されません。
2. UP/ABB スイッチ、DOWN/BAR スイッチを押すたびにカーソルが移動します。
希望する使用モードにカーソルを移動させます。
3. ENTER/AWB スイッチを押すと選択している項目に決定し、設定画面を約 5 秒間表示し、撮像状態に戻ります。
以降は、カメラは本設定状態で動作します。



** Use Mode Set **

→Halogen

Fluorescent

Outdoor

User

操作の手順

1 各機器の電源を入れる。

2 被写体の照明を適度にする。

3 使用モードを選ぶ。

一度選ぶと、同条件で使うときは選択の必要はありません。

4 レンズのフランジバックを調整し、絞り、ピントを合わせる。

- フランジバック調整は、初めて使うとき、レンズを変えたときに必要。

5 ホワイトバランスをとる。

- 初めて使うとき、長時間使わなかったときに必要。
- 照明条件、明るさが変わったときに必要。
- 一度とると、同条件で使うときは調整の必要はありません。

6 ブラックバランスをとる。

- 初めて使うとき、長時間使わなかったときに必要。
- 周囲温度が大幅に変わったとき、季節の変わり目などに必要。
- 一度とると、同条件で使うときは調整の必要はありません。

7 撮影する。

(終わったら各機器の電源を切る。)

8 用途・条件に応じてカメラの設定を変えたいときは 60 ページからを参照してください。

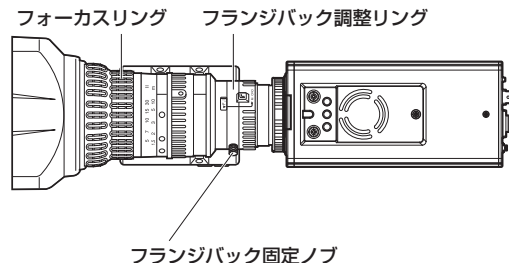
(通常は出荷時に適値に設定されています。)

調整のしかた

■フランジバック調整（ズームレンズの場合に必要です。）

ズームレンズの最望遠から最広角までの全範囲でピントを合わせる調整です。

1. 暗い被写体を写し、絞りを解放にします。
2. 被写体との距離を 2 m 以上にし、レンズのフランジバック固定ノブをゆるめます。
3. レンズを最望遠にし、フォーカスリングでピントを合わせます。
4. レンズを最広角にし、フランジバック調整リングでピントを合わせます。
5. ズーム範囲内でピントが合うまでフォーカスリングとフランジバック調整リングで繰り返し調整します。調整し終わったらフランジバック固定ノブを締め付けます。

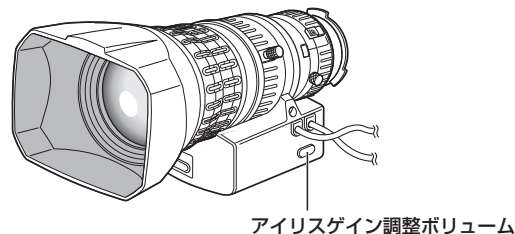


■レンズ内のアイリスゲインボリューム調整

- レンズハウジング前面にアイリスゲイン調整用穴（G または S 表示）があります。

ドライバーを使用して下記の手順で調整してください。
（レンズにより、位置や形状が多少異なります。）

1. レンズのアイリス選択スイッチを A (AUTO) 側にします。
2. アイリスゲイン調整ボリュームを回してハンチングが起こらない範囲でゲインを最高にします。



自動絞りパワーズームレンズの例

調整のしかた

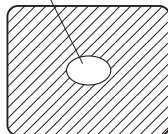
■ホワイトバランス調整

●自動調整 (AWB : AWB A/AWB B)

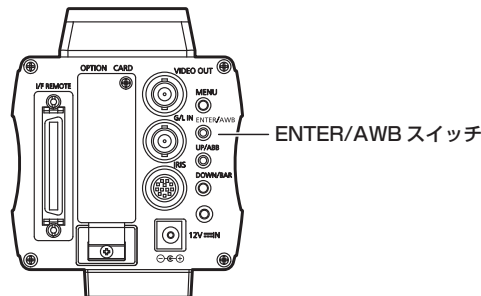
- 色設定サブメニュー (62、70 ページ) でホワイトバランスに「AWB A」または「AWB B」を選択したときは、A / B で 2 ヶ所の色温度条件をあらかじめセット (記憶) しておくことができます。
- 設定内容と同条件下で使用する場合は一度調整しておく、メニューをいずれかに切り替えるだけで完了です。改めてセットする必要はありません。
- 新たにセットすると以前の内容は消去されます。

1. ホワイトバランスに「AWB A」または「AWB B」を選択します。
2. 白い被写体 (白壁や白いハンカチなど) を画面いっぱいに映します。白い被写体の大きさは画面の 10 % 以上必要で、中央に映します。また、光ったものや高輝度の被写体が入らないようにしてください。

白の部分が画面の
10 % 以上必要



3. 撮影状態で ENTER/AWB スイッチを 2 秒以上押すと、ホワイトバランスをセットすることができます。



調整のしかた

ご注意

- 被写体照度が不足した場合はホワイトバランスが正しくとれないことがあります。
- ホワイトバランスをセットした後は、カメラ電源を切ってもカメラに内蔵のメモリにより長期間保持されています。被写体の色温度の状態がセットする前と変わらなければセットし直す必要はありませんが、設定条件が変わる場合（撮影場所が屋外から屋内に変わる、またはその逆など）はホワイトバランスをセットし直してください。
- ホワイトバランスをセットすると、ペインティングのR/Bゲイン調整の設定は±0へ戻ります。（カメラメニューのペインティング設定はユーザーモードのみ）

● 自動色温度追尾（ATW）

ホワイトバランス選択を「ATW」にすると、光源や色温度が変わっても自動的にホワイトバランスを合わせるように自動補正し、違和感のない画像にします。

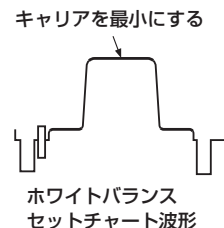
ご注意

- 高輝度（蛍光灯等）が画面に入った場合、ATWが正しく動作しないときがあります。
- 画面上に白がない場合ホワイトバランスがズれることがあります。

● 手動調整

ユーザーモードのときのみ手動調整ができます。

1. ホワイトバランス選択を「AWB A」または「AWB B」にします。
2. 白い被写体をモニター画面いっぱい映して、自動ホワイトバランスをとります。



3. 色設定サブメニューのペインティングでR/Bゲインを可変して、映像信号の白の部分のキャリアが最小になるように（または映像の白の部分が白になるように）調整します。
（調整はオシロスコープまたはウェーブフォームモニターを使用）

● 3200K・5600K プリセット

ホワイトバランス選択を「3200K」または「5600K」にすると、それぞれ色温度 3,200K、5,600K でホワイトバランスがセットされた状態になります。

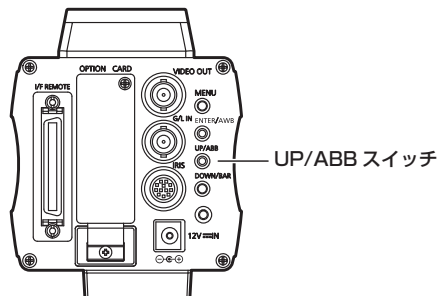
調整のしかた

■ブラックバランス調整

- レンズをクローズにして行います。モータードライブレンズをカメラからコントロールしている場合は、ブラックバランス調整を行うと自動的にクローズになります。
- ブラックバランスをセットすると、ペインティングの R/B ペダスタル調整の設定は ± 0 に戻ります。(ペインティングの設定はユーザーモードのみ)

UP/ABB スイッチを 2 秒以上押すと、約 30 秒でブラックバランスがセットされます。

ユーザーモードのときは、ブラックバランスをセットした後、色設定サブメニューのペインティングで、R ペダスタル、B ペダスタルを可変してブラックバランスの微調整ができます。



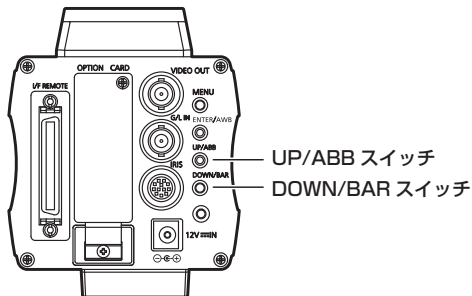
調整のしかた

■黒レベル（トータルペDESTAL）調整

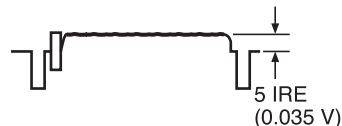
（調整はオシロスコープまたはウェーブフォームモニターを使用）

複数のカメラの黒レベル（ペDESTALレベル）を合わせるときに調整します。調整は販売店に依頼してください。

1. レンズをクローズにします。
2. サブメニューの明るさ設定で黒レベルを選択します。
3. UP/ABB スイッチまたは DOWN/BAR スイッチで黒レベルが5 IRE（0.035 V）になるように調整してください。



** Brightness Set **	
Picture Level	0
Light PEAK/AVG	0
Light Area	Top Cut
Shutter Mode	Step
Step/Synchro	Off
Gain	0dB
AGC Max Gain	---
→ Pedestal	0
Return	



調整のしかた

■ゲンロック調整

複数のカメラを使用するときや、他の機器と組み合わせるなど、外部同期をかけて位相を合わせるためにはカメラメニューで位相調整をする必要があります。調整は、販売店に依頼してください。

ご注意

- 水平位相調整を動かすと、色位相が動きます。水平位相調整を動かしたときは、色位相を調整し直してください。
- コンポジット信号と Y/C 信号の位相は連動して調整されます。
- HD フォーマットの 3 値 SYNC 信号には対応していません。
- 外部同期使用時は、選択されている映像出力フォーマット (Format) の出力信号のみ同期します (各 1080i、720p、480i)。

- ① HD フォーマット (1080i または 720p) 選択時、VIDEO OUT (コンポジット信号)、および AW-CA50T8 の S 端子から出力される Y/C 信号は外部同期信号と同期しません。
- ② VIDEO OUT (コンポジット信号)、および AW-CA50T8 の S 端子から出力される Y/C 信号を外部同期信号と同期させて使用する場合、映像出力フォーマットは「480i」をご使用ください (カメラメニューから選択)。

●水平位相調整

HD (1080i、720p) 信号と SD (480i) 信号の位相は連動して調整されます。

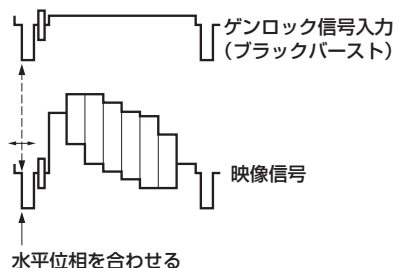
・ HD 信号の位相を調整する場合

他の HD 機器の信号出力の波形と本機の HD アナログ信号出力の波形を 2 現象オシロスコープで観測し、水平位相が合うようにカメラメニューで調整します。

調整のしかた

・ SD 信号の位相を調整する場合

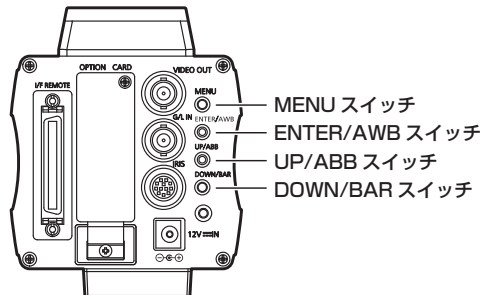
外部同期信号入力（ブラックバースト信号）と映像信号出力の波形を 2 現象オシロスコープで観測し、水平位相が合うようにカメラメニューで調整します。



カメラメニューで調整

- ① DOWN/BAR スイッチを約 2 秒以上押し、カラーバーにします。
- ② MENU スイッチを 3 秒以上押し、メインメニューを開きます。
- ③ UP/ABB スイッチまたは DOWN/BAR スイッチを押して「G/L Set」にカーソルを移動し、ENTER/ABB スイッチを押して「G/L Set」サブメニューを表示します。

- ④ サブメニューのゲンロック設定で、「H Phase」を選択します。
- ⑤ UP/ABB スイッチまたは DOWN/BAR スイッチで、水平位相が合うように調整します。「H Phase, SC Fine Step」では、「H Phase」調整時の調整量を選択できます。



```
## G/L Set ##
-> H Phase          0
   SC Coarse       90deg
   SC Fine         0
   H Phase,SC Fine Step 1
```

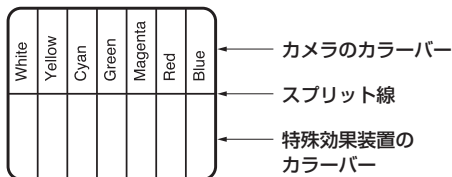
Return

調整のしかた

●色位相調整

色位相調整は、SD フォーマットのコンポジット信号、Y/C 信号でのみ必要です。

カラー特殊効果装置のプログラム出力（スプリットされたカラーバー出力）など、基準とする色調に、カメラの色位相を合わせます。



カメラメニューで調整

- ① DOWN/BAR スイッチを約 2 秒以上押し、カラーバーにします。
- ② MENU スイッチを 3 秒以上押し、メインメニューを開きます。
- ③ UP/ABB スイッチまたは DOWN/BAR スイッチを押して「G/L Set」にカーソルを移動し、ENTER/AWB スイッチを押して「G/L Set」サブメニューを表示します。
- ④ サブメニューのゲンロック設定で、「SC Coarse」を選択し UP/ABB スイッチまたは DOWN/BAR スイッチで粗調整をします。
- ⑤ 「SC Fine」を選択し、UP/ABB スイッチまたは DOWN/BAR スイッチで色位相が合うように微調整をします。
「H Phase, SC Fine Step」では、「SC Fine」調整時の調整量を選択できます。

メニュー項目の設定・変更

■メニュー項目の設定

- 本機の4種の使用モード（ハロゲンライト、蛍光灯、屋外、ユーザー）は各々1つのメインメニューを持っています。（61ページ）
- メインメニューの各項目はさらに各々1つのサブメニューを持ち、サブメニューには数個の設定項目があります。
- これらの設定項目は使用モードに合わせて工場出荷時に最適値にプリセットされていますが、実際の撮影状態に合わせて設定、変更できます。

ご注意

- G/L Set 画面および Other Set 2 画面に表示される設定項目は、Scene 共通項目です。どの Scene で設定してもすべての Scene の設定が変更されます。
- シーン共通項目のサブメニュータイトルは、シーン独立項目のサブメニューと区別するため、“##”で囲っています。
- 使用するモニターによっては、メニューの表示文字が欠ける場合があります。

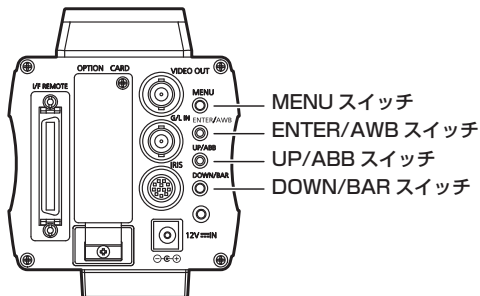
●設定のしかた（カメラ単体のとき）

1. MENU スイッチを約 3 秒以上押し続けると、各使用モードのメインメニュー画面が表示されます。使用モードの選択は 49 ページを参照してください。
2. UP/ABB スイッチ、DOWN/BAR スイッチを押すたびに選択項目が変わります。
3. ENTER/AWB スイッチを押すと、選択項目のサブメニュー画面が表示されます。
4. UP/ABB スイッチ、DOWN/BAR スイッチで設定、変更する項目を選択し、ENTER/AWB スイッチを押します。（項目が変更可能となり点滅します。）
5. UP/ABB スイッチ、DOWN/BAR スイッチで設定値を変更し、ENTER/AWB スイッチで変更を確定します。
 - 変更可能状態のときに MENU スイッチを押すと、変更前の設定値に戻すことができます。

メニュー項目の設定・変更

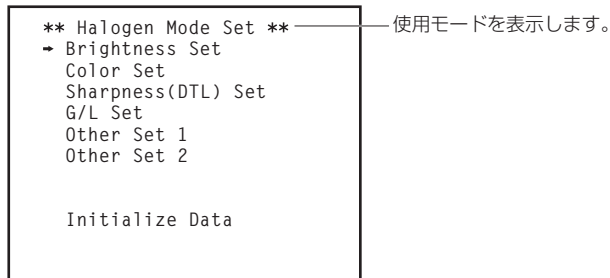
6. 設定が終わったら、MENU スイッチを 3 秒以上押し続けてメインメニュー画面を閉じます。

以後、カメラは本設定状態で動作します。

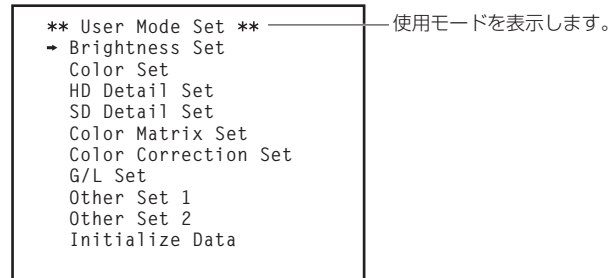


● メインメニュー画面

ハロゲンライト・蛍光灯・屋外モードのメインメニュー



ユーザーモードのメインメニュー



ハロゲンライト、蛍光灯、屋外モード時のメニュー項目の設定・変更

■ハロゲンライト、蛍光灯、屋外モードのサブメニュー画面

①明るさ設定画面

** Brightness Set **	
① → Picture Level	0
② → Light PEAK/AVG	0
③ → Light Area	Top Cut
④ → Shutter Mode	Step
⑤ → Step/Synchro	Off
⑥ → Gain	0dB
⑦ → AGC Max Gain	---
⑧ → Pedestal	0
Return	

②色設定画面

** Color Set **	
⑨ → Chroma Level	0
⑩ → Flesh Tone	0
⑪ → White Bal	AWB A
⑫ → ATW Speed	---
Return	

③シャープネス設定画面

** Sharpness(DTL) Set **	
⑬ → DTL Select	Sharpness
⑭ → Level	High
⑮ → Noise Suppress	Off
⑯ → Clean DNR	Off
⑰ → Flesh Noise Sup.	Off
Return	

④ゲンロック設定画面

## G/L Set ##	
⑱ → H Phase	0
⑲ → SC Coarse	90deg
⑳ → SC Fine	0
㉑ → H Phase,SC Fine Step	1
Return	

⑤その他設定画面

** Other Set 1 **	
㉒ → Contrast(Gamma)	Mid
㉓ → SD 2D LPF	Off
Return	

## Other Set 2 ##		
㉔ → Format	1080i	
㉕ → Downconv. Mode	Squeeze	
㉖ → Component	Y/Pb/Pr	
㉗ → Status	Off	
㉘	Character Mix	
	Component	On
	Composite	On
㉙	Option	On
	Composite,Y/C Setup	On
Return		

- 初期設定値（出荷時設定値）に戻すには、89 ページをご覧ください。

ハロゲンライト、蛍光灯、屋外モード時のメニュー項目の設定・変更

■設定画面の説明

①明るさ設定

①映像レベル調整 [Picture Level : -50 ~ +50]

オートアイリス／オートゲインアップ／オート ND (ELC) の収束レベルを調整します。

②測光検出比率調整

[Light PEAK/AVG : P50 ~ A50]

オートアイリス／オートゲインアップ／オート ND (ELC) の検出のピーク値 (P) と平均値 (A) の比率を調整できます。

③測光方法選択 [Light Area : All、Center、Top Cut、BTM Cut、R/L Cut]

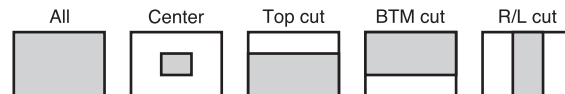
オートアイリス／オートゲインアップ／オート ND (ELC) の測光方法が選択できます。

- All** : 全画面測光となり、画面全体を測光します。
Center : 中央重点測光となり、上下約 1/3 と、左右 1/3 ずつカットされます。

Top Cut : 上部 1/3 カット測光となり、上約 1/3 がカットされます。

BTM Cut : 下部 1/3 カット測光となり、下約 1/3 がカットされます。

R/L Cut : 左右 1/3 カット測光となり、左右約 1/3 ずつカットされます。



④電子シャッターモード選択

[Shutter Mode : Step、S/Scan、ELC]

Step : 電子シャッターステップ／シンクロスキャン設定で選択したシャッタースピードで動作します。

S/Scan : 電子シャッターステップ／シンクロスキャン設定で設定したシャッタースピードで動作します。

ELC : 電子シャッターを制御し、光量を自動調整します。

ハロゲンライト、蛍光灯、屋外モード時のメニュー項目の設定・変更

⑥ 電子シャッターステップ/シンクロスキャン設定 [Step/Synchro: Off, 1/100 ~ 1/10000 (ステップ)、 61.19 Hz ~ 1466 Hz (シンクロスキャン)]

電子シャッターモード選択が「Step」または「S/Scan」のとき設定できます。

・電子シャッターモード選択が「Step」のとき：

Off：電子シャッターを OFF にします。

1/100、1/250、1/500、1/1000、1/2000、
1/4000、1/10000：

電子シャッターをそれぞれのシャッタースピード
で動作させます。

・電子シャッターモード選択が「S/Scan」のとき：

ワークステーションなどの画面を撮るとき、シンク
ロスキャン調整をすることにより、横バー上ノイズ
を低減させることができます。

ご注意

- レンズのアイリススイッチが「M」（マニュアル）側
になっていると、ELC が動作しないことがあります
ので、レンズのアイリススイッチは「A」（オート）に
してください。
- 蛍光灯下で、ELC にすると、フリッカーが増えるこ
とがあります。

⑥ ゲイン選択 [Gain : Auto、-6 dB ~ 18 dB]

Auto：光量を自動調整します。

-6 dB ~ -1 dB：

光量の多い状況下での撮影の際に、最適なゲイン設
定で撮影することができます。

これにより、ノイズの少ない映像を撮影できますが、
ダイナミックレンジが狭くなります。

0 dB：通常は「0 dB」でお使いください。

1 dB ~ 18 dB：

暗い場面を撮影するとき、レンズ絞りを開放にして
もなお十分な映像出力が得られない場合にお使いい
ださい。

⑦ AGC 最大ゲイン選択

[AGC Max Gain : 6 dB、12 dB、18 dB]

ゲイン選択が「AUTO」のときの最大ゲインアップ量
を設定します。

⑧ 黒レベル調整 [Pedestal : -150 ~ +150]

輝度 (Y) 信号の黒レベル (ペダスタル) の設定を行いま
す。

2 台以上のカメラの黒レベルを合わせるときに使いま
す。

ハロゲンライト、蛍光灯、屋外モード時のメニュー項目の設定・変更

② 色設定

3200K : 3200K の照明で調整されたホワイトバランスに設定されます。

⑨ 色の濃さ調整 [Chroma Level : -3 ~ +3]

色の濃さを ± 3 段階に調整できます。

RGB 信号の調整はできません。

5600K : 5600K の照明で調整されたホワイトバランスに設定されます。

⑩ 肌色調整 [Flesh Tone : -3 ~ +3]

肌色の色合いを ± 3 段階に調整できます。

⑫ ATW スピード設定 [ATW Speed : Slow2, Slow1, Mid, Fast1, Fast2]

ATW の動作速度をコントロールします。

⑪ ホワイトバランス選択

[White Bal : ATW、AWB A、AWB B、3200K、5600K]

ATW : 常にホワイトバランスが合うように自動動作します。

追従範囲は、およそ色温度 2000K ~ 10000K です。

AWB A、AWB B :

ホワイトバランスをセットしておけば、同一条件で使用する場合は、AWB A、AWB B を選択するだけで、改めてホワイトバランスセットの必要はありません。

ハロゲンライト、蛍光灯、屋外モード時のメニュー項目の設定・変更

③ シャープネス設定

- 13** シャープネス (ディテール) / スーパーハード切替
[DTL Select : Sharpness、Super DTL]
「Sharpness」を選択し、シャープネス (ディテール) / スーパーハードレベル調整を「Low」または「High」にしても輪郭補正が不足する場合は「Super DTL」にしてください。

ご注意

- シャープネス (ディテール) / スーパーハードレベル調整が「Off」のときは「シャープネス」「スーパーハード」とも、輪郭補正は動作しません。

- 14** シャープネス (ディテール) / スーパーハードレベル調整 [Level : Off、Low、High]
シャープネス (ディテール) / スーパーハード切替が「Sharpness」のときシャープネス (ディテール) レベルの調整ができます。「Super DTL」のときはスーパーハードレベルの調整ができます。

15 ノイズキャンセル補正レベル選択

[Noise Suppress : Off、Low、High]

シャープネス (ディテール) / スーパーハード調整が「High」または「Low」のときの画面ノイズ量を少なくできます。

16 クリーン DNR 選択

[Clean DNR : Off、Low、High]

クリーン DNR のノイズ低減効果を選択できます。

17 肌色ノイズサプレス選択

[Flesh Noise Sup. : Off、Low、High]

シャープネス (ディテール) / スーパーハードレベル調整が「High」または「Low」のとき、肌色部分のノイズを2段階に低減します。

ご注意

- ハロゲンライト、蛍光灯、屋外モード時の③ シャープネス設定は、フォーマットにかかわらず各映像出力に対して有効となります。

ハロゲンライト、蛍光灯、屋外モード時のメニュー項目の設定・変更

④ ゲンロック設定

18 水平位相調整

[H Phase : -206 ~ +49]

ゲンロック時の水平位相の調整ができます。

19 色位相調整

[SC Coarse : 0deg、45deg、90deg、
135deg、180deg、225deg、270deg、
315deg]

ゲンロック時の色位相の粗調整ができます。

SD フォーマットのコンポジット、Y/C 信号で有効です。

20 色位相微調整

[SC Fine : -127 ~ +127]

ゲンロック時の色位相の微調整ができます。

SD フォーマットのコンポジット、Y/C 信号で有効です。

21 水平位相、色位相微調整量選択

[H Phase, SC Fine Step : 1 ~ 10]

水平位相調整と色位相微調整の調整量を同時に選択できます。

⑤ その他設定

22 コントラスト調整

[Contrast (Gamma) : Low、Mid、High]

コントラストを 3 段階に調整できます。

23 SD (480i) 2D LPF

[SD 2D LPF : Off、Low、High]

コンポジット、Y/C 信号出力のクロスカラーを 2 段階で軽減できます。HD (1080i、720p) フォーマットおよび、RGB、Y/Pb/Pr、SDI 信号には効果がありません。

24 映像出力フォーマット選択

[Format : 480i、720p、1080i]

映像出力のフォーマットを選択できます。

(86 ページ「フォーマット設定を変更するには」を参照してください。)

ハロゲンライト、蛍光灯、屋外モード時のメニュー項目の設定・変更

㉔ ダウンコンバートモード選択

[Downconv. Mode : Squeeze、Sidecut]

SD (480i) フォーマットのダウンコンバートモードを Squeeze または Sidecut から選択します。

㉕ コンポーネント出力選択

[Component : RGB、Y/Pb/Pr、Y/C]

I/F REMOTE コネクタから出力するコンポーネント信号を RGB、Y/Pb/Pr、Y/C から選択できます。

「映像フォーマット (Format)」が「1080i」または「720p」のときは Y/C を選択できません。

Y/C 選択中に映像出力フォーマット選択機能で「1080i」または「720p」を選択した場合、コンポーネント出力は Y/Pb/Pr に変更されます。

(87 ページ「コンポーネント設定を変更するには」を参照してください。)

㉖ AWB/ABB 動作状態表示の ON/OFF 選択

[Status : Off、On] (出荷状態 : Off)

AWB (ホワイトバランス自動調整) や ABB (ブラックバランス自動調整) の動作状態表示の ON/OFF を選択します。

ON のときに AWB または ABB を実行すると、次の表示を行います。

AWB ACTIVE : AWB 実行中に表示

AWB OK : AWB 正常終了後 3 秒間表示

AWB NG : AWB 異常終了後 3 秒間表示
(ATW、3200K、5600K 選択中の AWB 実行)

OUT RANGE RB : AWB 異常終了後 3 秒間表示
(RB は調整できなかった色を表示)

HIGH LIGHT NG : 光量が多すぎて調整できない場合、3 秒間表示

LOW LIGHT NG : 光量が少なすぎて調整できない場合、3 秒間表示。

ABB ACTIVE : ABB 実行中に表示

ABB OK : ABB 正常終了後 3 秒間表示

IRIS CONTROL NG
: ABB で IRIS コントロール不可時
3 秒間表示。

OUT RANGE RGB
: ABB 異常終了後 3 秒間表示
(RGB は調整できなかった色を表示)

ハロゲンライト、蛍光灯、屋外モード時のメニュー項目の設定・変更

28 キャラクター出力選択

[Character Mix

Component : Off、On /

Composite : Off、On /

Option : Off、On]

カメラメニューやステータスなどのキャラクター出力方法 (Off/On) を選択します。

Component : コンポーネント信号 (RGB、Y/Pb/Pr) へのキャラクター出力方法を選択します。

Composite : コンポジット信号、Y/C 信号へのキャラクター出力方法を選択します。

Option : オプションカードへのキャラクター出力方法を選択します。

ご注意

- カメラ起動後約 1 分以内にメニューを起動すると、全出力にキャラクターが表示されます。
- Option へのキャラクターミックス選択設定は、オプションカードが挿入されている場合に有効となります。

29 Composite、Y/C セットアップ選択

[Composite, Y/C Setup : Off、On]

コンポジット信号および Y/C 信号出力のカラーバーセットアップレベル (Off : 0.0 IRE、On : 7.5 IRE) を選択できます。

ユーザーモード時のメニュー項目の設定・変更

■ユーザーモード時のサブメニュー画面

⑥ 明るさ設定画面

** Brightness Set **	
30	Picture Level 0
31	Light PEAK/AVG 0
32	Light Area Top Cut
33	Shutter Mode Step
34	Step/Synchro Off
35	Gain 0dB
36	AGC Max Gain ---
37	Pedestal 0
Return	

⑦ 色設定画面

** Color Set **	
38	Chroma Level +2
39	White Bal AWB A
40	ATW Speed ---
41	Painting
	R Gain 0
	B Gain 0
	R Pedestal 0
	B Pedestal 0
Return	

⑧ HD ディテール設定画面

** HD Detail Set 1/2 **	
42	Detail High
43	H Detail Level H 30
44	V Detail Level H 23
45	H Detail Level L 18
46	V Detail Level L 15
47	Detail Band 4
48	Noise Suppress 5
49	Level Dependent 10%
50	Dark Detail 0
Return	

** HD Detail Set 2/2 **	
51	Chroma Detail 0
52	Clean DNR Off
53	Flesh Noise Sup. Off
54	Precision Detail Off
Return	

ユーザーモード時のメニュー項目の設定・変更

⑨ SD ディテール設定画面

** SD Detail Set 1/2 **	
55	Detail High
56	H Detail Level H 16
57	V Detail Level H 3
58	H Detail Level L 13
59	V Detail Level L 2
60	Detail Band 4
61	Noise Suppress 3
62	Level Dependent 10%
63	Dark Detail 0
Return	

** SD Detail Set 2/2 **	
64	Chroma Detail 0
65	Clean DNR Off
66	Flesh Noise Sup. Off
Return	

⑩ カラーマトリクス設定画面

** Color Matrix Set **	
→ Matrix(R-G)	0
Matrix(R-B)	0
Matrix(G-R)	0
Matrix(G-B)	0
Matrix(B-G)	0
Matrix(B-R)	0
Return	

⑪ カラーコレクション設定画面

Color Correction 1/3	
→ B_Mg Gain	0
B_Mg Phase	0
Mg Gain	+27
Mg Phase	0
Mg_R Gain	0
Mg_R Phase	0
R Gain	+15
R Phase	0
Return	

Color Correction 2/3	
→ R_Yl Gain	0
R_Yl Phase	0
Yl Gain	+18
Yl Phase	+6
Yl_G Gain	0
Yl_G Phase	0
G Gain	+30
G Phase	+112
Return	

Color Correction 3/3	
→ G_Cy Gain	0
G_Cy Phase	0
Cy Gain	+44
Cy Phase	-15
Cy_B Gain	0
Cy_B Phase	0
B Gain	-20
B Phase	+36
Return	

ユーザーモード時のメニュー項目の設定・変更

⑫ ゲンロック設定画面

	## G/L Set ##	
67	H Phase	0
68	SC Coarse	90deg
69	SC Fine	0
70	H Phase,SC Fine Step	1
	Return	

⑬ その他設定画面

	** Other Set 1 **	
71	Gamma	0.45
72	Knee Point	88%
73	White Clip	110%
	Flare R	0
74	Flare G	0
	Flare B	0
75	Black Stretch	Off
76	SD 2D LPF	Off
77	EBU Matrix Set	Off
	Return	

	## Other Set 2 ##	
78	Format	1080i
79	Downconv. Mode	Squeeze
80	Component	Y/Pb/Pr
81	Status	Off
	Character Mix	
82	Component	On
	Composite	On
	Option	On
83	Composite,Y/C Setup	On
	Return	

- 初期設定値（出荷時設定値）に戻すには、89 ページをご覧ください。

ユーザーモード時のメニュー項目の設定・変更

■設定画面の説明

⑥明るさ設定

⑩映像レベル調整 [Picture Level : -50 ~ +50]

オートアイリス／オートゲインアップ／ELCの収束レベルを調整します。

⑪測光検出比率調整

[Light PEAK/AVG : P50 ~ A50]

オートアイリス／オートゲインアップ／ELCの検出のピーク値 (P) と平均値 (A) の比率を調整できます。

⑫測光方法選択 [Light Area : All、Center、Top Cut、BTM Cut、R/L Cut]

オートアイリス／オートゲインアップ／ELCの測光方法が選択できます。

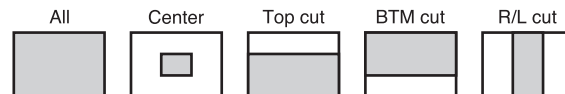
All : 全画面測光となり、画面全体を測光します。

Center : 中央重点測光となり、上下約 1/3 と、左右 1/3 ずつカットされます。

Top Cut : 上部 1/3 カット測光となり、上約 1/3 がカットされます。

BTM Cut : 下部 1/3 カット測光となり、下約 1/3 がカットされます。

R/L Cut : 左右 1/3 カット測光となり、左右約 1/3 ずつカットされます。



⑬電子シャッターモード選択

[Shutter Mode : Step、S/Scan、ELC]

Step : 電子シャッターステップ／シンクロスキャン設定で選択したシャッタースピードで動作します。

S/Scan : 電子シャッターステップ／シンクロスキャン設定で設定したシャッタースピードで動作します。

ELC : 電子シャッターを制御し、光量を自動調整します。

ユーザーモード時のメニュー項目の設定・変更

③④ 電子シャッターステップ/シンクロスキャン設定 [Step/Synchro: Off, 1/100 ~ 1/10000 (ステップ)、 61.19 Hz ~ 1466 Hz (シンクロスキャン)]

電子シャッターモード選択が「Step」または「S/Scan」のとき設定できます。

・電子シャッターモード選択が「Step」のとき：

Off：電子シャッターを OFF にします。

1/100、1/250、1/500、1/1000、1/2000、
1/4000、1/10000：

電子シャッターをそれぞれのシャッタースピード
で動作させます。

・電子シャッターモード選択が「S/Scan」のとき：

ワークステーションなどの画面を撮すとき、シンク
ロスキャン調整をすることにより、横バー上ノイズ
を低減させることができます。

ご注意

- レンズのアイリススイッチが「M」（マニュアル）側
になっていると、ELC が動作しないことがあります
ので、レンズのアイリススイッチは「A」（オート）に
してください。
- 蛍光灯下で、ELC にすると、フリッカーが増えるこ
とがあります。

③⑤ ゲイン選択 [Gain : Auto, -6 dB ~ 18 dB]

Auto：光量を自動調整します。

-6 dB ~ -1 dB：

光量の多い状況下での撮影の際に、最適なゲイン設
定で撮影することができます。

これにより、ノイズの少ない映像を撮影できますが、
ダイナミックレンジが狭くなります。

0 dB：通常は「0 dB」でお使いください。

1 dB ~ 18 dB：

暗い場면을撮影するとき、レンズ絞りを開放にして
もなお十分な映像出力が得られない場合にお使いい
ください。

③⑥ AGC 最大ゲイン選択

[AGC Max Gain : 6 dB、12 dB、18 dB]

ゲイン選択が「AUTO」のときの最大ゲインアップ量
を設定します。

③⑦ 黒レベル調整 [Pedestal : -150 ~ +150]

輝度 (Y) 信号の黒レベル (ペダスタルレベル) の設定
を行います。

2 台以上のカメラの黒レベルを合わせるときに使いま
す。

ユーザーモード時のメニュー項目の設定・変更

⑦ 色設定

③⑧ 色の濃さ調整 [Chroma Level : -3 ~ +3]

色の濃さを± 3 段階に調整できます。

RGB 信号の調整はできません。

③⑨ ホワイトバランス選択

[White Bal : ATW、AWB A、AWB B、
3200K、5600K]

ATW : 常にホワイトバランスが合うように自動動作
します。

追従範囲は、およそ色温度 2000K ~
10000K です。

AWB A、AWB B :

ホワイトバランスをセットしておけば、同一
条件で使用する場合は、AWB A、AWB B
を選択するだけで、改めてホワイトバランス
セットの必要はありません。

ペインティング調整の R ゲイン、B ゲイン
で AWB 後の色の微調整ができます。

3200K : 3200K の照明で調整されたホワイトバラン
スに設定されます。

5600K : 5600K の照明で調整されたホワイトバラン
スに設定されます。

④⑩ ATW スピード設定

[ATW Speed : Slow2、Slow1、Mid、Fast1、
Fast2]

ATW の動作速度をコントロールします。

④⑪ ペインティング調整

[Painting、R Gain、B Gain、R Pedestal、
B Pedestal : -150 ~ +150]

R Gain、B Gain :

ホワイトバランス選択で「AWB A」、「AWB B」を
選択しているとき、AWB 後のホワイトバランスの
微調整ができます。

AWB を実行すると設定値は± 0 に戻ります。

R Pedestal、B Pedestal :

AWB 後のブラックバランスの微調整ができます。

AWB を実行すると設定値は± 0 に戻ります。

ユーザーモード時のメニュー項目の設定・変更

⑧ HD (1080i、720p) デイテール設定

④2 デイテールレベル選択

[Detail : Off、Low、High]

輪郭補正量を選択できます。

水平／垂直デイテールレベル High/Low 設定で設定したレベルでデイテールが動作します。

④3 水平デイテールレベル High 設定

[H Detail Level H : 「Low」 +1 ~ +63]

④4 垂直デイテールレベル High 設定

[V Detail Level H : 「Low」 +1 ~ +31]

④5 水平デイテールレベル Low 設定

[H Detail Level L : 0 ~ 「High-1」]

④6 垂直デイテールレベル Low 設定

[V Detail Level L : 0 ~ 「High-1」]

デイテールレベル選択の「High」、「Low」の水平 (H) および垂直 (V) 方向のデイテールレベルが設定できます。水平 (H)、垂直 (V) とともに、「High」の設定が「Low」の設定よりも「1」以上大きくなければなりません。

④7 デイテールバンド選択 [Detail Band : 1 ~ 5]

デイテールレベル選択が「High」または「Low」のときの輪郭補正帯域を設定できます。

設定値が大きいほど、より細かなデイテールがつかまします。

④8 ノイズサプレス補正レベル調整

[Noise Suppress : 1 ~ 10]

デイテールレベル選択が「High」または「Low」のときの画面ノイズ量を少なくできます。

ただし、大きくしすぎると細かい被写体のシャープさが減少します。

④9 レベルディペンデント補正レベル調整

[Level Dependent : 0 % ~ 25 %]

被写体暗部のデイテールによる画面ノイズ量を低減できます。

ただし、設定を大きくしすぎると髪の毛などのシャープさが欠けることがあります。

ユーザーモード時のメニュー項目の設定・変更

50 ダークディテール補正レベル調整

[Dark Detail : 0 ~ 5]

被写体暗部の輪郭を強調できます。

レベルディペンデント補正レベル調整が「0 %」のときのみ設定できます。

51 クロマディテール補正レベル調整

[Chroma Detail : 0 ~ 15]

被写体の高彩度部の輪郭を強調できます。

52 クリーン DNR 選択

[Clean DNR : Off、Low、High]

クリーン DNR のノイズ低減効果を選択できます。

53 肌色ノイズサプレス選択

[Flesh Noise Sup. : Off、Low、High]

ディテールレベル調整が「High」または「Low」のとき、肌色部分のノイズを 2 段階に低減します。

54 プレシジョンディテールレベル選択

[Precision Detail : Off、Low、High]

ディテールの幅を細くし、ディテールによるギラつきを抑えます。

ご注意

- ⑧ HD (1080i、720p) ディテール設定は、HD (1080i、720p) フォーマットに対して有効となりますが、SD (480i) フォーマットに対しても効果が現れる場合があります。

ユーザーモード時のメニュー項目の設定・変更

㊦ SD (480i) デテール設定

㊦ デテールレベル選択

[Detail : Off、Low、High]

輪郭補正量を選択できます。

水平／垂直デテールレベル High/Low 設定で設定したレベルでデテールが動作します。

㊦ 水平デテールレベル High 設定

[H Detail Level H : 「Low」 +1 ~ +63]

㊦ 垂直デテールレベル High 設定

[V Detail Level H : 「Low」 +1 ~ +31]

㊦ 水平デテールレベル Low 設定

[H Detail Level L : 0 ~ 「High-1」]

㊦ 垂直デテールレベル Low 設定

[V Detail Level L : 0 ~ 「High-1」]

デテールレベル選択の「High」、「Low」の水平 (H) および垂直 (V) 方向のデテールレベルが設定できます。水平 (H)、垂直 (V) とともに、「High」の設定が「Low」の設定よりも「1」以上大きくなければなりません。

㊦ デテールバンド選択 [Detail Band : 1 ~ 5]

デテールレベル選択が「High」または「Low」のときの輪郭補正帯域を設定できます。

設定値が大きいほど、より細かなデテールがつかまします。

㊦ ノイズサプレス補正レベル調整

[Noise Suppress : 1 ~ 10]

デテールレベル選択が「High」または「Low」のときの画面ノイズ量を少なくできます。

ただし、大きくしすぎると細かい被写体のシャープさが減少します。

㊦ レベルディペンデント補正レベル調整

[Level Dependent : 0 % ~ 25 %]

被写体暗部のデテールによる画面ノイズ量を低減できます。

ただし、設定を大きくしすぎると髪の毛などのシャープさが欠けることがあります。

ユーザーモード時のメニュー項目の設定・変更

63 ダークディテール補正レベル調整

[Dark Detail : 0 ~ 5]

被写体暗部の輪郭を強調できます。

レベルディペンデント補正レベル調整が「0 %」のときのみ設定できます。

64 クロマディテール補正レベル調整

[Chroma Detail : 0 ~ 15]

被写体の高彩度部の輪郭を強調できます。

65 クリーン DNR 選択

[Clean DNR : Off、Low、High]

クリーン DNR のノイズ低減効果を選択できます。

66 肌色ノイズサプレス選択

[Flesh Noise Sup. : Off、Low、High]

ディテールレベル調整が「High」または「Low」のとき、肌色部分のノイズを 2 段階に低減します。

ご注意

- ◎ SD (480i) ディテール設定は、SD (480i) フォーマットに対して有効となります。

ユーザーモード時のメニュー項目の設定・変更

⑩ カラーマトリクス設定

リニアマトリクス R-G

[Matrix(R-G) : -31 ~ +31]

R-G 軸方向の色調整を行います。

リニアマトリクス R-B

[Matrix(R-B) : -31 ~ +31]

R-B 軸方向の色調整を行います。

リニアマトリクス G-R

[Matrix(G-R) : -31 ~ +31]

G-R 軸方向の色調整を行います。

リニアマトリクス G-B

[Matrix(G-B) : -31 ~ +31]

G-B 軸方向の色調整を行います。

リニアマトリクス B-G

[Matrix(B-G) : -31 ~ +31]

B-G 軸方向の色調整を行います。

リニアマトリクス B-R

[Matrix(B-R) : -31 ~ +31]

B-R 軸方向の色調整を行います。

ユーザーモード時のメニュー項目の設定・変更

① カラーコレクション設定

B_Mg ゲイン [B_Mg Gain : -127 ~ +127]

青とマゼンタの中間色の増減を行います。

B_Mg フェーズ [B_Mg Phase : -127 ~ +127]

青とマゼンタの中間色の色相を可変します。

Mg ゲイン [Mg Gain : -127 ~ +127]

マゼンタの増減を行います。

Mg フェーズ [Mg Phase : -127 ~ +127]

マゼンタの色相を可変します。

Mg_R ゲイン [Mg_R Gain : -127 ~ +127]

マゼンタと赤の中間色の増減を行います。

Mg_R フェーズ [Mg_R Phase : -127 ~ +127]

マゼンタと赤の中間色の色相を可変します。

R ゲイン [R Gain : -127 ~ +127]

赤の増減を行います。

R フェーズ [R Phase : -127 ~ +127]

赤の色相を可変します。

R_YI ゲイン [R_YI Gain : -127 ~ +127]

赤と黄の中間色の増減を行います。

R_YI フェーズ [R_YI Phase : -127 ~ +127]

赤と黄の中間色の色相を可変します。

YI ゲイン [YI Gain : -127 ~ +127]

黄の増減を行います。

YI フェーズ [YI Phase : -127 ~ +127]

黄の色相を可変します。

YI_G ゲイン [YI_G Gain : -127 ~ +127]

黄と緑の中間色の増減を行います。

YI_G フェーズ [YI_G Phase : -127 ~ +127]

黄と緑の中間色の色相を可変します。

G ゲイン [G Gain : -127 ~ +127]

緑の増減を行います。

G フェーズ [G Phase : -127 ~ +127]

緑の色相を可変します。

G_Cy ゲイン [G_Cy Gain : -127 ~ +127]

緑とシアンの中間色の増減を行います。

G_Cy フェーズ [G_Cy Phase : -127 ~ +127]

緑とシアンの中間色の色相を可変します。

Cy ゲイン [Cy Gain : -127 ~ +127]

シアンの増減を行います。

Cy フェーズ [Cy Phase : -127 ~ +127]

シアンの色相を可変します。

Cy_B ゲイン [Cy_B Gain : -127 ~ +127]

シアンと青の中間色の増減を行います。

Cy_B フェーズ [Cy_B Phase : -127 ~ +127]

シアンと青の中間色の色相を可変します。

B ゲイン [B Gain : -127 ~ +127]

青の増減を行います。

B フェーズ [B Phase : -127 ~ +127]

青の色相を可変します。

ユーザーモード時のメニュー項目の設定・変更

⑫ ゲンロック設定

⑥7 水平位相調整

[H Phase : -206 ~ +49]

ゲンロック時の水平位相の調整ができます。

⑥8 色位相調整

[SC Coarse : 0deg、45deg、90deg、
135deg、180deg、225deg、270deg、
315deg]

ゲンロック時の色位相の粗調整ができます。

SD フォーマットのコンポジット、Y/C 信号で有効です。

⑥9 色位相微調整

[SC Fine : -127 ~ +127]

ゲンロック時の色位相の微調整ができます。

SD フォーマットのコンポジット、Y/C 信号で有効です。

⑦0 水平位相、色位相微調整量選択

[H Phase, SC Fine Step : 1 ~ 10]

水平位相調整と色位相微調整の調整量を同時に選択できます。

⑬ その他設定

⑦1 ガンマ補正レベル設定 [Gamma : 0.35 ~ 0.55]

ガンマ補正レベルを設定できます。

⑦2 ニー補正レベル設定

[Knee Point : 88 % ~ 98 %、Dynamic]

88 % ~ 98 % :

ニー補正される映像信号のレベル（ニーポイント）を設定できます。

Dynamic :

光量に合わせて、ニー補正レベルを自動調整します。

⑦3 ホワイトクリップレベル設定

[White Clip : 95 % ~ 110 %]

ホワイトクリップされる映像信号のピークレベルを設定できます。

ご注意

- RGB、Y/Pb/Pr 信号でホワイトクリップレベルを 100 % 以上に設定した場合、ホワイトクリップレベルは 100 % に固定されます。

ユーザーモード時のメニュー項目の設定・変更

74 フレア補正レベル調整 [Flare R/G/B : 0 ~ 100]

フレア補正レベルの調整ができます。

75 ブラックストレッチ選択

[Black Stretch : Off、On]

低照度時の黒つぶれを補正する、ブラックストレッチの OFF/ON が設定できます。

76 SD (480i) 2D LPF

[SD 2D LPF : Off、Low、High]

コンポジット、Y/C 信号出力のクロスカラーを2段階で軽減できます。HD (1080i、720p) フォーマットおよび、RGB、Y/Pb/Pr、SDI 信号には効果がありません。

77 EBU マトリクス設定

[EBU Matrix Set : Off、On]

Off : カラーマトリクス、カラーコレクション、および色の濃さ調整の各項目を EBU マトリクス設定前の設定値に戻します。

On : カラーマトリクス、カラーコレクション、および色の濃さ調整の各項目に EBU マトリクス設定値を設定します。

(88 ページ「EBU マトリクスを設定するには」を参照してください。)

78 映像出力フォーマット選択

[Format : 480i、720p、1080i]

映像出力のフォーマットを選択できます。

(86 ページ「フォーマット設定を変更するには」を参照してください。)

79 ダウンコンバートモード選択

[Downconv. Mode : Squeeze、Sidecut]

SD (480i) フォーマットのダウンコンバートモードを Squeeze または Sidecut から選択します。

ユーザーモード時のメニュー項目の設定・変更

80 コンポーネント出力選択

[Component : RGB、Y/Pb/Pr、Y/C]

I/F REMOTE コネクターから出力するコンポーネント信号を RGB、Y/Pb/Pr、Y/C から選択できます。

「映像フォーマット (Format)」が「1080i」または「720p」のときは Y/C を選択できません。

Y/C 選択中に映像出力フォーマット選択機能で「1080i」または「720p」を選択した場合、コンポーネント出力は Y/Pb/Pr に変更されます。

(87 ページ「コンポーネント設定を変更するには」を参照してください。)

81 AWB/ABB 動作状態表示の ON/OFF 選択

[Status : Off、On] (出荷状態 : Off)

AWB (ホワイトバランス自動調整) や ABB (ブラックバランス自動調整) の動作状態表示の ON/OFF を選択します。

ON のときに AWB または ABB を実行すると、次の表示を行います。

- AWB ACTIVE : AWB 実行中に表示
AWB OK : AWB 正常終了後 3 秒間表示
AWB NG : AWB 異常終了後 3 秒間表示
(ATW、3200K、5600K 選択中の AWB 実行)
- OUT RANGE RB : AWB 異常終了後 3 秒間表示
(RB は調整できなかった色を表示)
- HIGH LIGHT NG : 光量が多すぎて調整できない場合、3 秒間表示
- LOW LIGHT NG : 光量が少なすぎて調整できない場合、3 秒間表示。
- ABB ACTIVE : ABB 実行中に表示
ABB OK : ABB 正常終了後 3 秒間表示
- IRIS CONTROL NG : ABB で IRIS コントロール不可時
3 秒間表示。
- OUT RANGE RGB : ABB 異常終了後 3 秒間表示
(RGB は調整できなかった色を表示)

ユーザーモード時のメニュー項目の設定・変更

㊸ キャラクター出力選択

[Character Mix

Component : Off、On /

Composite : Off、On /

Option : Off、On]

カメラメニューやステータスなどのキャラクター出力方法 (Off/On) を選択します。

Component : コンポーネント信号 (RGB、Y/Pb/Pr) へのキャラクター出力方法を選択します。

Composite : コンポジット信号、Y/C 信号へのキャラクター出力方法を選択します。

Option : オプションカードへのキャラクター出力方法を選択します。

ご注意

- カメラ起動後約 1 分以内にメニューを起動すると、全出力にキャラクターが表示されます。
- Option へのキャラクターミックス選択設定は、オプションカードが挿入されている場合に有効となります。

㊹ Composite、Y/C セットアップ選択

[Composite, Y/C Setup : Off、On]

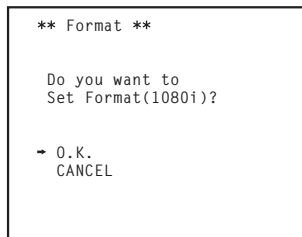
コンポジット信号および Y/C 信号出力のカラーバーセットアップレベル (Off : 0.0 IRE、On : 7.5 IRE) を選択できます。

設定を変更するには

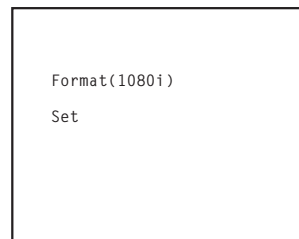
■フォーマット設定を変更するには

その他設定画面でフォーマット設定を変更する場合、確認画面が表示されます。

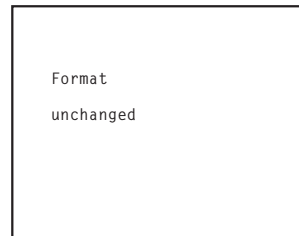
1. その他設定画面で Format 設定を変更し、ENTER/AWB スイッチを押すと、下のような、「Format」サブメニュー画面が約 10 秒間表示されます。



2. 「Format」サブメニュー画面が表示されてから、約 10 秒以内に O.K. を選択して ENTER/AWB スイッチを押すと、設定が変更され、下のような画面を表示してメインメニューに戻ります。



3. 「Format」サブメニュー画面が表示されてから、CANCEL を選択して ENTER/AWB スイッチを押すか、あるいは約 10 秒以内に O.K. を選択して ENTER/AWB スイッチを押さないと、下のような画面を表示し、設定の変更を行わずにメインメニューに戻ります。

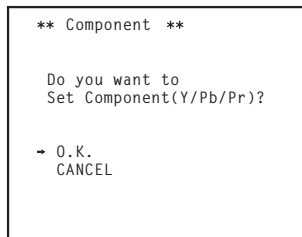


設定を変更するには

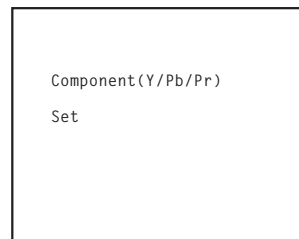
■コンポーネント設定を変更するには

その他設定画面でコンポーネント設定を変更する場合、確認画面が表示されます。

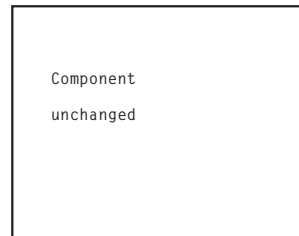
1. その他設定画面で Component 設定を変更し、ENTER/AWB スイッチを押すと、下のような、「Component」サブメニュー画面が約 10 秒間表示されます。



2. 「Component」サブメニュー画面が表示されてから、約 10 秒以内に O.K. を選択して ENTER/AWB スイッチを押すと、設定が変更され、下のような画面を表示してメインメニューに戻ります。



3. 「Component」サブメニュー画面が表示されてから、CANCEL を選択して ENTER/AWB スイッチを押すか、あるいは約 10 秒以内に O.K. を選択して ENTER/AWB スイッチを押さないと、下のような画面を表示し、設定の変更を行わずにメインメニューに戻ります。

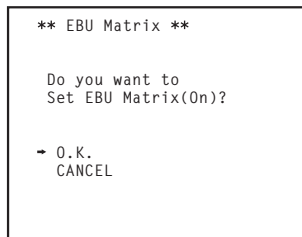


設定を変更するには

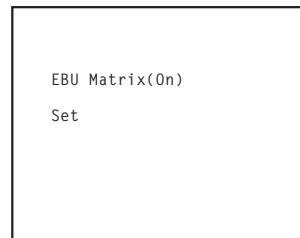
■ EBU マトリクスを設定するには

その他設定画面で EBU マトリクス設定をする場合、確認画面が表示されます。

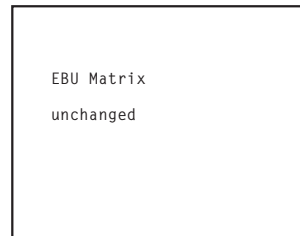
1. その他設定画面で EBU マトリクス設定を変更し、ENTER/AWB スイッチを押すと、下のような、「EBU Matrix」サブメニュー画面が約 10 秒間表示されます。



2. 「EBU Matrix」サブメニュー画面が表示されてから、約 10 秒以内に O.K. を選択して ENTER/AWB スイッチを押すと、EBU Matrix が設定され、下のような画面を表示してメインメニューに戻ります。



3. 「EBU Matrix」サブメニュー画面が表示されてから、CANCEL を選択して ENTER/AWB スイッチを押すか、あるいは約 10 秒以内に O.K. を選択して ENTER/AWB スイッチを押さないと、下のような画面を表示し、EBU Matrix 設定を行わずにメインメニューに戻ります。



初期設定（出荷時設定）に戻すには

■初期設定に戻すには

それぞれの使用モードで、設定を間違えたときなどに、出荷時の設定に戻すことができます。初期化を行うと、Format と Component を除くカメラメニューの設定値が出荷時設定に戻ります。

1. それぞれの使用モードのメインメニューで「Initialize Data」を選択し、ENTER/AWB スイッチを押すと、下のような、「Initialize Data」サブメニュー画面が約 10 秒間表示されます。

```
** Initialize Data **  
(Halogen Mode)  
  
Do you want to  
initialize Halogen  
Mode settings?  
  
→ O.K.  
CANCEL
```

ご注意

- 初期化を行うと、初期化前の設定値は消去され、戻すことはできません。

2. 「Initialize Data」サブメニュー画面が表示されてから、約 10 秒以内に O.K. を選択して ENTER/AWB スイッチを押すと、設定が初期化され、下のような画面を表示してメインメニューに戻ります。

```
Halogen Mode  
initialized
```

3. 「Initialize Data」サブメニュー画面が表示されてから、CANCEL を選択して ENTER/AWB スイッチを押すか、あるいは約 10 秒以内に O.K. を選択して ENTER/AWB スイッチを押さないと、下のような画面を表示し、設定の初期化を行わずにメインメニューに戻ります。

```
Halogen Mode  
unchanged
```

初期設定（出荷時設定）に戻すには

■初期設定値（出荷時設定値）

●ハロゲンライト、蛍光灯、屋外モードの初期設定

	項 目	Halogen	Fluorescent	Outdoor
Brightness Set	Picture Level	0	0	0
	Light PEAK/AVG	0	0	0
	Light Area	Top Cut	Top Cut	Top Cut
	Shutter Mode	Step	Step	ELC
	Step/Synchro	Off	Off	---
	Gain	0dB	0dB	Auto
	AGC Max Gain	---	---	18dB
	Pedestal	0	0	-40
Color Set	Chroma Level	0	0	0
	Flesh Tone	0	0	0
	White Bal	AWB A	AWB A	ATW
	ATW Speed	---	---	Mid
Sharpness(DTL) Set	DTL Select	Sharpness	Sharpness	Sharpness
	Level	High	High	High
	Noise Suppress	Off	Off	Off
	Clean DNR	Off	Off	Off
	Flesh Noise Sup.	Off	Off	Off
G/L Set* (*Scene 共通項目)	H Phase	0	0	0
	SC Coarse	90deg	90deg	90deg
	SC Fine	0	0	0
	H Phase,SC Fine Step	1	1	1
Other Set 1	Contrast(Gamma)	Mid	Mid	Mid
	SD 2D LPF	Off	Off	Off
Other Set 2* (*Scene 共通項目)	Format	1080i	1080i	1080i
	Downconv. Mode	Squeeze	Squeeze	Squeeze
	Component	Y/Pb/Pr	Y/Pb/Pr	Y/Pb/Pr
	Status	Off	Off	Off
	Character Mix			
	Component	On	On	On
	Composite	On	On	On
	Option	On	On	On
Composite,Y/C Setup	On	On	On	

初期設定（出荷時設定）に戻すには

●ユーザーモードの初期設定

	項目	User
Brightness Set	Picture Level	0
	Light PEAK/AVG	0
	Light Area	Top Cut
	Shutter Mode	Step
	Step/Synchro	Off
	Gain	0dB
	AGC Max Gain	---
	Pedestal	0
Color Set	Chroma Level	+2
	White Bal	AWB A
	ATW Speed	---
	Painting	
	R Gain	0
	B Gain	0
HD Detail Set 1/2	R Pedestal	0
	B Pedestal	0
	Detail	High
	H Detail Level H	30
	V Detail Level H	23
	H Detail Level L	18
	V Detail Level L	15
	Detail Band	4
	Noise Suppress	5
	Level Dependent	10%
Dark Detail	0	
HD Detail Set 2/2	Chroma Detail	0
	Clean DNR	Off
	Flesh Noise Sup.	Off
	Precision Detail	Off

	項目	User
SD Detail Set 1/2	Detail	High
	H Detail Level H	16
	V Detail Level H	3
	H Detail Level L	13
	V Detail Level L	2
	Detail Band	4
	Noise Suppress	3
	Level Dependent	10%
	Dark Detail	0
	SD Detail Set 2/2	Chroma Detail
Clean DNR		Off
Flesh Noise Sup.		Off
Color Matrix Set	Matrix(R-G)	0
	Matrix(R-B)	0
	Matrix(G-R)	0
	Matrix(G-B)	0
	Matrix(B-G)	0
	Matrix(B-R)	0
Color Correction 1/3	B_Mg Gain	0
	B_Mg Phase	0
	Mg Gain	+27
	Mg Phase	0
	Mg_R Gain	0
	Mg_R Phase	0
	R Gain	+15
R Phase	0	

初期設定（出荷時設定）に戻すには

	項 目	User
Color Correction 2/3	R_YI Gain	0
	R_YI Phase	0
	YI Gain	+18
	YI Phase	+6
	YI_G Gain	0
	YI_G Phase	0
	G Gain	+30
	G Phase	+112
Color Correction 3/3	G_Cy Gain	0
	G_Cy Phase	0
	Cy Gain	+44
	Cy Phase	-15
	Cy_B Gain	0
	Cy_B Phase	0
	B Gain	-20
	B Phase	+36
G/L Set* (*Scene 共通項目)	H Phase	0
	SC Coarse	90deg
	SC Fine	0
	H Phase,SC Fine Step	1
Other Set 1	Gamma	0.45
	Knee Point	88%
	White Clip	110%
	Flare R	0
	Flare G	0
	Flare B	0
	Black Stretch	Off
	SD 2D LPF	Off
	EBU Matrix Set	Off

	項 目	User	
Other Set 2* (*Scene 共通項目)	Format	1080i	
	Downconv. Mode	Squeeze	
	Component	Y/Pb/Pr	
	Status	Off	
	Character Mix	Component	On
		Composite	On
	Option	On	
	Composite,Y/C Setup	On	

故障と思ったら

●操作関係

症 状	原因・対策	参照ページ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">● 回転台を使用していない場合<ul style="list-style-type: none">→ 本機付属の DC ケーブルと指定の AC アダプターが接続されていますか？→ AC アダプターの POWER スイッチが ON になっていますか？	P.18、 P.24 ~ 26
	<ul style="list-style-type: none">● 回転台、コントローラーを使用している場合<ul style="list-style-type: none">→ 各機器は正しく接続されていますか？→ 回転台、コントローラーの電源は入っていますか？→ 回転台、コントローラーの取扱説明書も参照してください。	P.27 ~ 38
コントローラーから 操作できない	<ul style="list-style-type: none">● 本機の電源は入っていますか？<ul style="list-style-type: none">→ 本機の電源表示 LED が消灯している場合は、本機の電源が入っていません。	P.18
	<ul style="list-style-type: none">● 回転台、コントローラーと正しく接続されていますか？<ul style="list-style-type: none">→ 回転台、コントローラーの電源は入っていますか？→ 回転台、コントローラーの取扱説明書も参照してください。	P.17、 P.24 ~ 26
	<ul style="list-style-type: none">● コントローラーの CONTROL ボタンで本機、または、本機に接続しているシステムを正しく選んでいますか？<ul style="list-style-type: none">→ コントローラーの取扱説明書も参照してください。	P.39 ~ 48

故障と思ったら

症 状	原因・対策	参照ページ
コントローラーから 操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機に対応するために、コントローラーのバージョンアップが必要な場合があります。 → 販売店にご相談ください。 	---
	<ul style="list-style-type: none"> ● AW-RP400 と AW-CB400 の組み合わせでは、どちらかの操作を禁止する設定がされている場合があります。 → コントローラーの取扱説明書を参照してください。 	---
レンズが操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機とレンズが正しく接続されていることを確認してください。 ● レンズのアイリス選択スイッチが AUTO になっていることを確認してください。 	P.19、P.52
	<ul style="list-style-type: none"> ● 指定のレンズを使用していますか？ 	P.19
メニューの表示が できない	<ul style="list-style-type: none"> ● モニターに接続している出力のキャラクター出力選択が OFF になっていませんか？ → キャラクター出力選択を確認してください。キャラクター出力選択が OFF でも、起動後 1 分以内は全出力にキャラクターを表示します。 	P.69、P.85
	<ul style="list-style-type: none"> ● 回転台、コントローラーを使用している場合 → 回転台、コントローラーと正しく接続されていますか？ → 回転台、コントローラーの取扱説明書も参照してください。 	P.17、 P.24 ~ 26

故障と思ったら

●映像関係

症 状	原因・対策	参照ページ
カメラの映像が出ない、乱れる	● 回転台、コントローラーと正しく接続されていますか？ → 回転台、コントローラーの取扱説明書も参照してください。	P.27 ~ 38
	● 接続した機器の電源は入っていますか？ → 回転台、コントローラーの取扱説明書も参照してください。	---
	● 操作するカメラを選ぶと映像も切り替わるシステム構成（スイッチャーなどを使用）の場合、本機を正しく選んでいますか？	---
	● 映像出力は正しく選択されていますか？ → 映像出力フォーマットや、コンポーネント出力選択などを確認してください。	P.67 ~ 68、 P.83 ~ 84
	● 禁止された条件で使用していませんか？ → 設置上のお願い、定格を確認してください。	P.12、P.99
	● ゲンロック機能を使用している場合 → ゲンロック同期信号が正しく入力されていることを確認してください。 → 水平位相、色位相が正しく設定されていることを確認してください。	P.26、 P.57 ~ 59

故障と思ったら

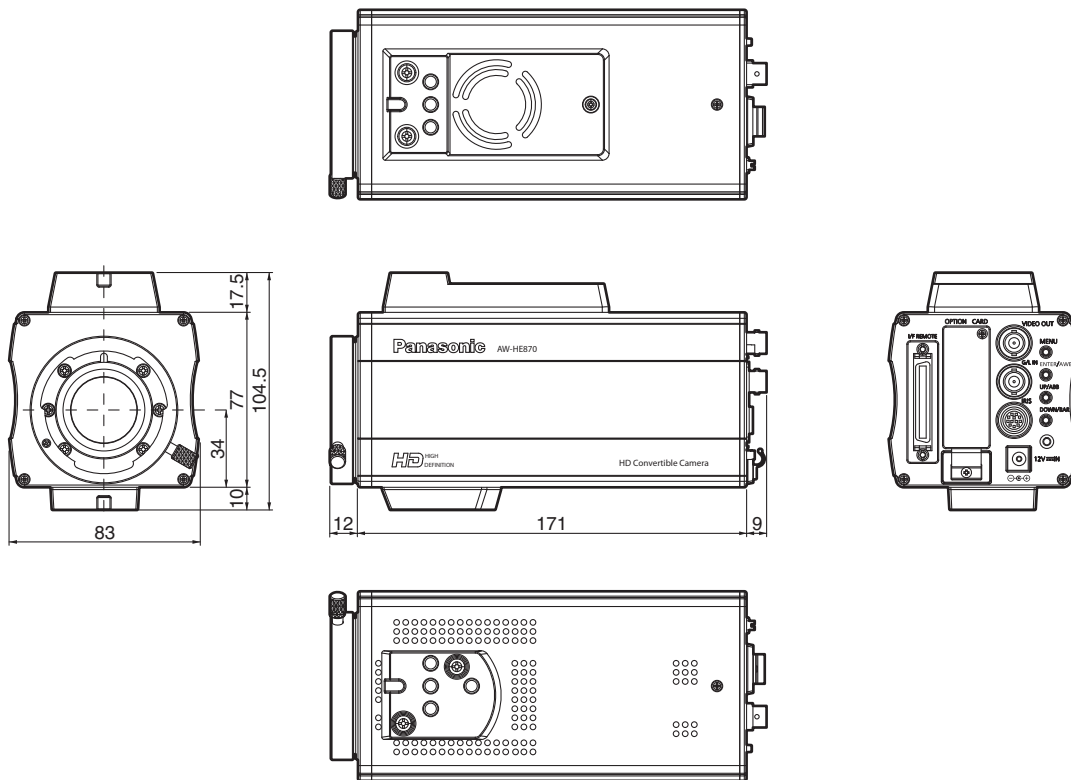
症 状	原因・対策	参照ページ
映像の色がおかしい	<ul style="list-style-type: none"> ● ホワイト／ブラックバランス調整を実行していますか？ <ul style="list-style-type: none"> → ホワイト／ブラックバランス調整を実行してください。 → 自動色温度追尾（ATW）を選択することもできます。 	P.53～55
	<ul style="list-style-type: none"> ● カラーマトリクス設定やカラーコレクション設定を変更していませんか？ <ul style="list-style-type: none"> → カラーマトリクス設定やカラーコレクション設定を見直してください。 	P.80～81、 P.89
	<ul style="list-style-type: none"> ● コンポジットビデオ信号出力でゲンロック機能を使用している場合 <ul style="list-style-type: none"> → 水平位相、色位相が正しく設定されていることを確認してください。 	P.26、 P.57～59
映像が明るすぎる、 または暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> ● コントローラーを使用している場合 <ul style="list-style-type: none"> → アイリスをオート設定にするか、マニュアル設定にして手動でアイリスを調整してください。 	P.39～48
	<ul style="list-style-type: none"> ● 映像ケーブルの接続、終端を確認してください。 	---
	<ul style="list-style-type: none"> ● 映像ケーブルが長い場合に、信号の減衰のために映像が暗くなる場合があります。 市販のケーブル補償器を接続してください。 	---
	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機とレンズが正しく接続されていることを確認してください。 ● レンズのアイリス選択スイッチが AUTO になっていることを確認してください。 	P.19、P.52
	<ul style="list-style-type: none"> ● 指定のレンズを使用していますか？ 	P.19

故障と思ったら

症 状	原因・対策	参照ページ
複数の色の帯（カラーバー）が表示される	<ul style="list-style-type: none"> カメラ映像に切り替えてください。 	P.16、 P.39～48
コントローラーのH/FとOPTIONが点滅する CB400のOPERATE LEDが点滅する	<ul style="list-style-type: none"> 本機を再起動して、「Fan Error」と表示されることを確認してください。 → 本機内部の冷却ファンが消耗、または故障しています。 このまま使用すると故障の原因になります。 販売店へ交換を依頼してください。 	P.11、 P.39～48
起動時に「Fan Error」と表示される	<ul style="list-style-type: none"> 本機内部の冷却ファンが消耗、または故障しています。 このまま使用すると故障の原因になります。 販売店へ交換を依頼してください。 なお、「Fan Error」はAWB/ABB動作状態表示設定やキャラクター出力選択にかかわらず、すべての映像出力に表示されます。「Fan Error」表示を消したい場合は、メニュー画面を表示し、メニュー画面を閉じます。 	P.11
コントローラーでAWC/ABCボタンを押すと、AWC/ABCボタンが点灯する	<ul style="list-style-type: none"> AWB/ABBの調整が異常終了しました。撮影条件を見直して再度実行してください。 → AWB/ABB動作状態表示（Status）をONにすると、異常理由を確認することができます。 	P.53、P.54 P.55、P.68

外形寸法図

単位：mm



定 格

電 源： DC 12 V

消費電力： 18.5 W

は安全項目です。

光学系 : ダイクロイックプリズム光学系 F1.4
 撮像素子 : 2/3 型・インターライン型ワイド CCD
 同期方式 : 内部同期、外部同期 BB (BNC × 1、Dsub 50P × 1)

映像出力

<HD フォーマット>		
Y/Pb/Pr Y : 1.0 V [p-p]/75 Ω Pb/Pr : 0.7 V [p-p]/75 Ω (Dsub 50P × 1)	RGB : 1.0 V [p-p]/75 Ω (Dsub 50P × 1)	メニューで切替
<SD フォーマット>		
VIDEO OUT : 1.0 V [p-p]/75 Ω (BNC × 1、Dsub 50P × 1)	Y/C Y : 1.0 V [p-p]/75 Ω C : 0.286 V [p-p]/75 Ω (バースト) (Dsub 50P × 1)	常時出力
Y/Pb/Pr Y : 1.0 V [p-p]/75 Ω Pb/Pr : 0.7 V [p-p]/75 Ω (Dsub 50P × 1)	RGB : 1.0 V [p-p]/75 Ω (Dsub 50P × 1)	メニューで切替
Y/C Y : 1.0 V [p-p]/75 Ω C : 0.286 V [p-p]/75 Ω (バースト) (Dsub 50P × 1)		

標準照度・色温度 : 2,000 lx (F10、3200K)
 レジストレーション : 0.05 % (全画面 ただし、レンズの影響は除く)
 幾何学歪 : 0 % (全画面 ただし、レンズの影響は除く)
 輪郭補正 : 水平、垂直 (2H)

定 格

ホワイトバランス	: AWB A、AWB B (R/B ペインティング)、ATW、3,200K/5,600K プリセット
ブラックバランス	: オート (R/B ペインティング)
クロマ量可変	: 7 段階可変
エンコード方式	: Y、R-Y、B-Y
ゲイン切替	: -6 ~ 18 dB ステップ、AGC
電子シャッター	: 1/100、1/250、1/500、1/1000、1/2000、1/4000、1/10000、ELC、 Synchro Scan (61.19 Hz ~ 1466 Hz)
カラーバー	: SMPTE
出力フォーマット切替	: 480i、720p、1080i
レンズマウント	: 2/3 型 バヨネットマウント
レンズ絞り	: オート、マニュアル (マニュアルはリモコン使用時のみ)
切替スイッチ	: MENU ENTER/AWB (AWB : メニュー画面を出していないとき) UP/ABB (ABB : メニュー画面を出していないとき) DOWN/BAR (BAR : メニュー画面を出していないとき)
入出力コネクター	: VIDEO OUT : BNC コネクター G/L IN : BNC コネクター IRIS : 12P 丸型コネクター DC 12 V IN : DC コネクター I/F REMOTE : 50P Dsub コネクター
表 示	: 緑色 LED 点灯 : POWER ON

定 格

許容温度	: 保存温度	-20 ℃～ +60 ℃
	性能保証温度	+5 ℃～ +35 ℃
	動作保証温度	-10 ℃～ +45 ℃ [0 ℃以下では 30 分間以上の予熱が必要]
動作周囲湿度	: 保存湿度	20 %～ 90 %
	動作保証湿度	20 %～ 90 %
寸 法	: 83 (幅) × 104.5 (高さ) × 192 (奥行) mm (突起部除く)	
質 量	: 約 1.2 kg	

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

■保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社は、このHDコンバーチブルカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき

まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	HDコンバーチブルカメラ
品番	AW-HE870N
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

パナソニック株式会社 プロフェッショナルAVビジネスユニット

〒 571-8503 大阪府門真市松葉町 2 番 15 号 ☎ (06) 6901-1161

© Panasonic Corporation 2011